

■助成・トラスト

	事業者コード	環境寄附対象団体名称
1	K148	ウヨロ環境トラスト
2	K149	カラカネイトンボを守る会 あいあい自然ネットワーク
3	K150	霧多布湿原ナショナルトラスト
4	K151	トラストサルン釧路
5	K152	茨城県 緑化推進機構
6	K153	埼玉県生態系保護協会
7	K154	埼玉県緑化推進委員会
8	K155	22世紀やま・もり再生ネット
9	K156	国土緑化推進機構
10	K157	都市緑化機構
11	K158	日本ナショナル・トラスト協会
12	K159	かながわトラストみどり財団
13	K160	鎌倉風致保存会
14	K161	環境再生保全機構(地球環境基金)
15	K162	にいがた緑の百年物語緑化推進委員会
16	K163	静岡県緑化推進協会
17	K164	愛岐トンネル群保存再生委員会
18	K165	愛知県緑化推進委員会
19	K166	三重県緑化推進協会
20	K167	大阪みどりのトラスト協会
21	K168	兵庫県緑化推進協会
22	K170	高知県森と緑の会
23	K171	生態系トラスト協会
24	K172	さが緑の基金
25	K242	北海道森と緑の会

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K148	団体名	特定非営利活動法人ウヨロ環境トラスト
連絡先 (電話／メール)	0144-85-2833	活動ホームページ (URL)	http://www.shiraoi.org/trust/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	放置人工林等再生のための間伐推進と森林ボランティア育成事業		
寄附額合計	¥208,440		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥32,112	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、北海道白老町のサケが遡上し自然産卵する清流ウヨロ川中流部のカラマツの里山人工林等において、長期間にわたり放置され荒廃した森林の再生を図るため、会員やボランティアによる間伐を進め、森林の機能増進を図っております。会員の森林整備のレベルがあがってきたことから、間伐作業を行うための機材が不足してきました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた32,112円は、当会の自主財源と家電エコポイント助成金を加え、平成23年4月に中古の小型トラックを1台購入することができました。</p> <p>(効果)新たな機材により、今年度は新たに約1haを整備することができました。今後は更に範囲を広げて森の手入れを行い、さらに荒廃した森林の再生に取り組んでいきます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,289	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、北海道白老町のサケが遡上し自然産卵する清流ウヨロ川中流部のカラマツの里山人工林等において、長期間にわたり放置され荒廃した森林の再生を図るため、会員やボランティアによる間伐を進め、森林の機能増進を図っております。会員による森林整備を毎年進めてきましたが、間伐作業を行うための指導者と資機材が不足していました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた92,289円は、当会の自主財源を加え、平成23年7月から毎月開催している森林保全活動の指導者を育成する研修会の運営経費及びチェンソー等の資機材の購入経費に活用することができました。</p> <p>(効果)研修会の開催により森林ボランティアの指導者を拡大することができ、今年度は約0.5haの森林整備を行うことができました。今後は更に範囲を広げて森の手入れを行い、さらに荒廃した森林の再生に取り組んでいきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥60,135	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、北海道白老町のサケが遡上し自然産卵する清流ウヨロ川中流部のカラマツの里山人工林等において、長期間にわたり放置され荒廃した森林の再生を図るため、会員やボランティアによる間伐を進め、森林の機能増進を図っております。会員による森林整備を毎年進めてきましたが、間伐作業を行うための燃料費や消耗品の活動経費と資機材が不足していました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた60,135円は、当会の自主財源を加え、平成24年度に毎月開催している森林保全活動の活動経費及びチェンソー等の資機材の購入経費に活用することができました。</p> <p>(効果)活動の継続により、今年度は約0.5haの森林整備を行うことができました。今後は更に範囲を広げて森の手入れを行い、さらに荒廃した森林の再生に取り組んでいきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,240	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、北海道白老町のサケが遡上し自然産卵する清流ウヨロ川中流部のカラマツの里山人工林等において、長期間にわたり放置され荒廃した森林の再生を図るため、会員やボランティアによる間伐を進め、森林の機能増進を図っております。会員による森林整備を毎年進めてきましたが、間伐作業を行うための燃料費や消耗品の活動経費と資機材が不足していました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた17,240円は、当会の自主財源を加え、平成25年度に毎月開催している森林保全活動の活動経費及びチェンソー等の資機材の購入経費に活用することができました。</p> <p>(効果)活動の継続により、今年度は約0.2haの森林整備を行うことができました。今後は更に範囲を広げて森の手入れを行い、さらに荒廃した森林の再生に取り組んでいきます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,664	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人は、北海道白老町のサケが遡上し自然産卵する清流ウヨロ川中流部のカラマツの里山人工林等において、長期間にわたり放置され荒廃した森林の再生を図るため、会員やボランティアによる間伐を進め、森林の機能増進を図っております。会員による森林整備を毎年進めてきましたが、間伐作業を行うための燃料費や消耗品の活動経費と資機材が不足していました。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた6,664円は、当会の自主財源を加え、平成26年度に毎月開催している森林保全活動の活動経費及びチェンソー等の資機材の購入経費に活用することができました。</p> <p>(効果)活動の継続により、今年度は約0.1haの森林整備を行うことができました。今後は更に範囲を広げて森の手入れを行い、さらに荒廃した森林の再生に取り組んでいきます。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K149	団体名	特定非営利活動法人カラカネイトンポを守る会 あいあい自然ネットワーク
連絡先 (電話／メール)	090-1648-6428	活動ホームページ (URL)	http://www.7b.biglobe.ne.jp/~karakane
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	自然保護・生物多様性保全		
寄附額合計	¥194,189		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,742	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)7年間で32筆7,196m²、2,180坪、賃貸地3筆3,067m²、管理地全体で35筆10,263m²(3,110坪)を管理しています。</p> <p>(使途)住宅エコポイントの寄附金は2012年の6筆購入費用の一部に全額使用しました。</p> <p>(効果)お陰様で、篠路福移湿原全体の約10%程になります。湿原と接触している湿原ビオトープ(昨年、札幌市みどりの課に要請し、実現)と共に、今後、守り続け購入を推進するために、ナショナル・トラスト運動を続けて行きます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥91,939	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)篠路福移湿原の購入、管理を行っています。管理地全体で36筆、10,523m²(3,191坪)を管理しています。2012年7/31～8/1 福島のごども49名を昨年に引き続き余市川でカヌーでの川下り、釣り、とんぼ捕りを行いました。2012年8/16～18 第11回韓国江の日大会in水原に3名の参加。2012年9/21 「いい川いい川jin東京大会」に参加する韓国一行26名が来札し、藻岩山・サケ科学館・石狩川・川の博物館・篠路福移湿原等を観察対応しました。2012年11/10・11のJR札幌駅第6回パネル・写真展等の開催等を行いました。</p> <p>(使途)2011年度の湿原水質調査(157,500円)の一部として寄附金を全額使用しました。</p> <p>(効果)この活動により世間の認知度の向上し、企業や屯田北中学校等の参加もあり、盛り上りました。何と云ってもイベント開催の収支が、赤字から黒字に替わったのも、ご寄附いただいた方々からの寄附が多なる貢献をしております。本当に感謝申し上げます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥49,160	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>★篠路福移湿原の保全・保護活動★石狩湿原のビオトープ維持活動★あいの里ホテルの飼育・保護活動★石狩川下流当別地区自然再生地区のトンボのモニタリングの4大活動を展開。</p> <p>篠路福移湿原の購入は、2006年から行い7年間で、合計33筆7,456m²(2,259坪) ¥1,014.1万円、管理地全体で36筆、10,523m²(3,191坪)を管理しています。</p> <p>2012年7/31～8/1 福島のごども49名を昨年に引き続き余市川でカヌーでの川下り、釣り、とんぼ捕りを行いました。2012年8/16～18 第11回韓国江の日大会in水原に3名の参加。2012年9/21 「いい川いい川jin東京大会」に参加する韓国一行26名が来札し、藻岩山・サケ科学館・石狩川・川の博物館・篠路福移湿原等を観察対応しました。2012年11/10・11のJR札幌駅第6回パネル・写真展等の開催等を行いました。</p> <p>(使途)2012年6/17 茨戸川・カヌー&「とんぼの学校」の整備のイベント費49,160円を使用しました。</p> <p>(効果)この活動により世間の認知度の向上し、企業や屯田北中学校等の参加もあり、盛り上りました。何と云ってもイベント開催の収支が、赤字から黒字に替わったのも、ご寄附いただいた方々からの寄附が多なる貢献をしております。本当に感謝申し上げます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥16,740	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>・篠路福移湿原の保全・保護活動 ・石狩湿原のビオトープ維持活動 ・あいの里ホテルの飼育・保護活動 ・石狩川下流当別地区自然再生地区のトンボのモニタリングの事業を展開いたしました。</p> <p>篠路福移湿原の保全・保護活動としてナショナルトラスト運動を行い、2006年から7年間で、33筆7,456m²(2,259坪)、賃貸借契約も含めると36筆、10,523m²(3,191坪)の土地を管理しています。</p> <p>(使途)2013年8月18日 茨戸川「とんぼの学校」(ビオトープ)の整備費用に16,740円を使用しました。</p> <p>(効果)企業の方や中学生、地域の方々など、広く参加者を募り、石狩湿原ウォークや茨戸川「とんぼの学校」の整備を行うことができました。また、湿原の保全活動として、湿原植物の種を採集育てるとい湿原植物の再生実験を開始しました。環境寄附をして下さった皆様、ありがとうございました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,608		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)篠路福移湿原の保全・保護活動としてナショナルトラスト運動を行い、2006年から9年間で、11,510m²の土地を管理しています。</p> <p>・篠路福移湿原の保全・保護活動 ・石狩湿原のビオトープ維持活動 ・あいの里ホテルの飼育・保護活動 ・石狩川下流当別地区自然再生地区のトンボのモニタリングの事業を展開いたしました。</p> <p>(使途)2015年6月21日 茨戸川「とんぼの学校」(ビオトープ)の整備費用に6,608円を使用しました。</p> <p>(効果)企業の方や中学生、地域の方々など、延べ100名以上の参加者を募ることができ、自然観察ウォークや茨戸川「とんぼの学校」の整備を行うことができました。また、湿原の保全活動として、湿原植物の種を採集育てるとい湿原植物の再生実験を継続することができました。環境寄附をして下さった皆様、ありがとうございました。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K150	団体名	特定非営利活動法人霧多布湿原ナショナルトラスト
連絡先 (電話／メール)	0153-62-4600	活動ホームページ (URL)	http://www.kiritappu.or.jp
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	霧多布湿原におけるナショナルトラスト事業		
寄附額合計	¥420,299		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥69,742	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>2011年は、琵琶瀬地区0.3haの土地を買い取り保全することができました。琵琶瀬地区の土地は、海側に面している土地で、ケンボッキ島や琵琶瀬湾を望む丘にあります。また、湿原を囲む森林部の茶内三番沢地区9haを地主の方から寄附していただきました。茶内三番沢地区は、湿原の水源でとても大切な場所です。2011年は合わせて9.3haの土地を取得することができました。霧多布湿原の保全地は、2012年3月現在、697haとなっています。(町協定地77ha、借地7ha含む)</p> <p>住宅エコポイントよりいただきました寄附は、土地の取得と、保全地の管理のために使わせていただきました。</p> <p>保全地の管理の内容は下草刈り、木道の修繕、看板の設置です。ありがとうございました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥209,340	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>2012年は、霧多布湿原の中央を流れる川の上流部69ha、琵琶瀬地区4ha、茶内地区8haの買い上げと、森林2haの借上げ保全をすることができました。これまでは霧多布湿原の民有地を中心に保全活動を行ってきましたが、霧多布湿原の水源保全をするため、霧多布湿原に流れる川の上流域周辺及び、森林の保全活動を始めました。</p> <p>エコポイントより頂いたご寄附209,340円は、保全地管理のために買った、フットパスのコース整備や木道整備、植樹等の材料費として使用させて頂きました。</p> <p>フットパスのコース整備では、ボランティアの方々と一緒に看板を作成し、その後、整備したコースを歩くイベントを開催し、10名の方に参加を頂きました。また、町内外のボランティア約60名の方々や植樹を行い、鹿対策としてネットで囲む作業も行いました。ボランティアに参加した学生からは、楽しかったとの声が聞かれ、その後のイベントにも参加してくれたりと繋がりが生まれました。2012年3月現在の保全面積は、783haとなりました。ありがとうございました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥98,289	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>私たちは、霧多布湿原の民有地の買い取りとともに、湿原の水源を保全するため、霧多布湿原に流れる川の上流域周辺や森林の買い取りを行っています。</p> <p>2013年は、以前より環境教育活動のフィールドとして借りていた霧多布湿原センター周辺の湿原・森林17haを買い取ることができました。また、エゾカンゾウやワタスゲが群生する仲の浜地区の湿原5ha、榊町地区の湿地3ha、姉別地区の湿原5haを買い取ることができました。2013年12月末現在、買い上げ保全地は727haとなり、借地・協定地を含めた保全面積は812haとなりました。保全地では、秋に町内外のボランティア総勢80名で木道の改修作業を行いました。よりゆっくりと花を楽しんで頂けるよう、今回は木道の幅を広げ、途中にテラスを新設しました。地元の高校生にも参加を頂き、作業を通して私たちの活動を理解してもらい良い機会となりました。</p> <p>住宅エコポイントより頂いたご寄附98,289円は、保全地取得のための資金、木道整備のための材料購入資金として使用させて頂きました。ありがとうございました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥24,560	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>私たちは、霧多布湿原の民有地の買取とともに湿原の水源を保全するため、河口の上流域周辺や森林の買取も進めています。</p> <p>2014年は、エゾカンゾウをはじめ多くの花が群落する湿原(仲の浜地区)2件7.6haを買い取ることができ、2014年1月現在、保全面積は(協定地77ha、借地保全地8ha、を含め)821haとなりました。取得した土地では、ボランティアの方々と一緒に、木道の改修作業を行いました。この作業には3企業の社員の皆様、トラスト会員の皆様、地元ボランティアの皆様、地元の中高生の皆様に参加していただき、総勢60名ほどの作業となりました。初めて参加された方からも「ぜひまた参加したい」との声が聞かれ、地元の学生との関わりも年々深くなってきております。</p> <p>住宅エコポイントからのご寄附24,560円は、民有地買い取りのための資金、またボランティア作業の資材購入の資金として全額を使用させて頂きました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥18,368	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体では、環境整備として湿原を身近に感じ、楽しむ目的として木道を作成していますが、手直しができるエコな木道のため毎年、修復作業も行っています。</p> <p>(使途)いただきました寄附金と当団体の自己資金を合わせ、霧多布湿原の保全活動として、新たに29ヘクタールの土地を取得することができました。</p> <p>(効果)取得した土地の一部が湿原を埋め立てられたところだったので、埋め立てた土砂をはぎ取り、湿原の回復実験の場所として経過をみる回復事業も手掛けました。湿原回復場所の植物の特定調査は専門家にも依頼しましたが、周りの植物の移植作業などは、地元の高校ボランティア部や地元有志ボランティアの皆さんに手伝っていただきました。今後の寄附金としては、森林整備、木道整備などの一部に使用させていただきたいと考えております。ご寄附をいただいた皆様のボランティア参加も歓迎いたしますので、上部活動HPをご覧いただき、ぜひお申込みください。</p>	

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K151	団体名	特定非営利活動法人トラストサルン釧路
連絡先 (電話／メール)	0154-44-5022	活動ホームページ (URL)	http://homepage3.nifty.com/trustsarun
対象分野	地球温暖化防止;自然保護・生物多様性保全;森林の保全・緑化;大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策		
事業・ プロジェクト名	釧路湿原を保全するためのナショナルトラスト活動		
寄附額合計	¥307,911		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥82,744	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	1)緑化活動として、平成22年度は自然保護地内に合計1,050本の地元産広葉樹を植林した。樹種はミズナラ、ダケカンバ、ミズキなどで、いずれも地元の自然木から採取した種子を苗に育てたものである。湿原の水源地として育てながら、植物の遺伝的地域特性を守ることができるという、生態系に配慮した手法である。植林作業は会員等のボランティアで行なわれ、環境寄附は用具代や現地までの車両費の弁済に充てられた。 2)自然保護地の取得としては、平成22年度は釧路湿原の北側、標茶町コッタロに203ヘクタールという大規模な保護地を取得した。ここは湿原の最奥部で特別保護地域に指定されている「コッタロ湿原」を望む丘陵地であり、この山林を維持することで釧路湿原の心臓部の水源を守ることができる。また小湿地や湧水、先史時代の遺跡なども存在する地域で、環境を保全しながら、環境教育の場としてもすでに利用が始まっている。	
	平成24年度		
	寄附額	¥131,552	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	1)緑化活動として、平成23年度は1,755本、平成24年度は1,037本の広葉樹を湿原周辺の自然保護地内に植栽した。また24年7月現在、会の所有する苗畑で3,812本の地元の種子から育てた苗木を育成しており、今後も継続して森林再生に使用していく。作業はボランティアで行なわれ、寄附は作業者の交通費および用具の購入、植栽地をシカの食害から守るネットの設置費用等に充てられた。 2)自然保護地の取得活動としては、寄附を積み立てた湿原保護基金を原資に、釧路湿原国立公園指定範囲から漏れている釧路市北園のヨシ湿原200,328m ² (約20ha)を平成24年1月に取得して、第23号自然保護地として登録した。この場所は、保護の網のかからない開発可能な地域であったが、今後はナショナルトラストによる保護地として恒久的に環境保全される。 24年1月以降の寄附による残額56,602円は、次の土地取得に備えて湿原保護基金に積み立てられている。	
	平成25年度		
	寄附額	¥64,102	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	1)ポイント取得者ならびに個別指定していただいた事業者からの環境寄附(25,567円)は、緑化活動に全額充当した。平成25年度の緑化活動は、自前の苗畑で地元産広葉樹の種子から育てた苗木約8,000本の育成を行い、これらのうち1,060本を保護地内の荒れ地に植栽するというものであったが、この活動のうち苗畑作業用の水道代および植栽地を囲むシカ除け柵(シカが多いため、防除しないと食害を受けてしまう)の資材費の一部に充当した。 2)交換事業者から均等分配された寄附分(38,535円)については、当会が持つ「湿原保護基金」に積み立てられた。これは釧路湿原周囲の土地の取得に使うための資金である。平成25年度は新たな土地取得がなく、前年度の繰越寄附56,602円とともに積み立てたが、そのうち21,000円は当会宛に寄附された土地(達古武沼畔の湿地1,058平米)の登記費用に使用した。 「湿原保護基金」として積み立てられた残額の74,137円については、現在釧路町達古武の山林40haの取得交渉を断続的に行っているところであり、成立した際にその土地取得費用として充当する予定である。	
	平成26年度		
	寄附額	¥22,371	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	1)ポイント取得者および事業者からの個別寄附(合計8,166円)は、緑化事業に全額を充当した。平成26年度春からの緑化事業において、植栽地下草刈りのための刈り払い機替刃(3,196円)同燃料(4,450円)およびシカ侵入防止柵の修繕用の資材として竹竿(1,722円)を購入した。 2)交換事業者から均等寄附された14,205円については、保護地取得のために使われる当会の「湿原保護基金」に積み立てた。昨年度までの住宅エコポイント寄附による同基金の残額は74,137円であり、合計で88,342円となった。平成26年度は10月末までに保護地の新規購入はないが、8月に寄附による第24号地(2,509m ²)を成立させ、この登記費用(45,000円)として基金を充当した。 これにより住宅エコポイント寄附による残額は43,342円となり、さらに新規自然保護地の取得に備えている。	
平成27年度			
寄附額	¥7,142		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	トラストサルン釧路では、釧路湿原保全のためのナショナルトラスト地(自然保護地)の取得資金を積み立てている。このための住宅エコポイント寄附は前会計年度の繰越残金として43,342円あり、平成27年度には保護地取得がなかったため、現在も新規取得のために準備し、これと並行して、保護地を湿原の水源地として再生する緑化活動に力を入れている。 今期の寄附金7,142円は、湿原東側の達古武沼に面した丘陵地と、塘路地区の丘陵地の2カ所にある植栽地で、エゾシカによる植栽苗の食害を防ぐためのシカ除けネットの修繕に活用された。いずれもネットと支柱が老朽化や平成27年春先の雪害のために破損していた。環境寄附で支柱用の鉄パイプなどを購入し、8/9、8/23、10/18、11/14の4日間の修繕作業に延べ24名の会員がボランティアで従事した。 この結果、7カ所のネットで約1.5haの植栽地を囲うことができた。		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K152	団体名	社団法人茨城県緑化推進機構
連絡先 (電話／メール)	029-303-2828	活動ホームページ (URL)	http://www.ibaraki-green.or.jp/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	緑の募金による森林整備並びに緑化普及啓蒙事業		
寄附額合計	¥251,544		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥33,013	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当機構では、次代を担う児童生徒(小学生～中学生)に対する森林環境教育の一環として、「緑育運動」を提唱し実践している。</p> <p>環境寄附の使途は、前回と同様緑の少年団活動の運営経費(消耗品費、通信運搬費等)に使わせていただきました。</p> <p>茨城県の緑の少年団は、団数・団員数ともに全国ベスト5に入る活動をしており、それらの円滑な運営に役立ちました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥97,789	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当機構では、未来を担う児童生徒(小中学生)を対象に行っている「緑育運動」の一環として森林環境教育を行っております。</p> <p>今回頂いた環境寄附の使途については、緑の少年団を対象とした子供の森づくり事業のなかの木工教室の資材費等、諸経費に全額(97,789円)充てさせていただきました。</p> <p>効果としては、森づくり作業や自然体験学習を通して森林の大切さを肌で学ぶ良い機会となったこと、参加者からは「普段は出来ない貴重な体験が出来た。今後の学校生活にも活かしていきたい」「自然の不思議と初めて出会う良い機会となり、もっと森や樹木を知りたくなった」等の感想をいただきました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥71,460	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当機構では、未来を担う児童生徒(小中学生)を対象に行っている「緑育運動」の一環として森林環境教育を行っております。</p> <p>今回頂いた環境寄附の使途については、緑の少年団を対象とした子供の森づくり事業のなかの木工教室の資材費等、諸経費に全額(71,460円)充てさせていただきました。</p> <p>効果としては、森づくり作業や自然体験学習を通して森林の大切さを肌で学ぶ良い機会となったこと、参加者からは「じっくりと自然と向き合う貴重な素晴らしい体験をさせていただいた。自然について考える良い機会となった」「自然にしっかりと触れることが出来た。これらの活動を通して参加者同士、より深い友達になれたと思う」等の感想をいただきました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥41,739	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当機構では、未来を担う子供たち(小中学生)を対象に行っている「緑育運動」の一環として、森林環境教育を行っております。</p> <p>今回頂いた環境寄附の使途については、緑の少年団を対象とした宿泊学習の中の木工教室の資材費等、諸経費に全額(41,739円)充てさせていただきました。</p> <p>効果としては、森づくり作業や自然体験学習を通して参加者同士の交流を深めるとともに、森林の大切さを肌で学ぶ良い機会となった事、参加者からは「自然体験や林業体験では、普段味わえない心落ち着くひと時を過ごすことができました。他校の体験発表や林業体験では、緑の少年団活動の大切さを再認識できました」「他校の生徒と接する機会がなかった児童も交流会や林業体験を通して交友関係を広げ、楽しんで活動ができました」等の感想を頂きました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,543	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当機構では、未来を担う子供たち(小中学生)を対象に行っている「緑育運動」の一環として、森林環境教育を行っております。</p> <p>今回頂いた環境寄附の使途については、緑の少年団を対象とした宿泊学習の中の木工教室の資材費等、諸経費に全額(7,543円)充てさせていただきました。</p> <p>効果としては、森づくり作業や自然体験学習を通して参加者同士の交流を深めるとともに、森林の大切さを肌で学ぶ良い機会となった事、参加者からは「交流集会で行われた木に関する体験活動や木工教室などを通して、子どもたちは緑に対する見方が深まったように思える」「各団の体験発表を聞き、各学校で色々な方法で森林を大切にしよう取り組んでいることを知ることができた」等の感想を頂きました。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K153	団体名	財団法人埼玉県生態系保護協会
連絡先 (電話／メール)	048-645-0570	活動ホームページ (URL)	http://www.eco-saitama.or.jp/activity/nt/mizu_trust/index.html
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	水のトラストしよつ基金		
寄附額合計	¥282,722		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥74,342	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当協会では、2002年から、首都圏の水を支える一級河川「荒川」の源流域、埼玉県秩父地域において、ブナやミズナラ、コナラ、ヤマザクラなどの広葉樹林が残る自然の森を買い取って、将来世代に守り継ぐトラスト活動を行っています。トラスト地は、たいせつな水を育む緑のダムとして重要な役割を果たしているほか、絶滅の危機にあるツキノワグマや猛禽類のクマタカ、天然記念物のカモシカなど、たくさんの生きものを育む生命の森にもなっています。</p> <p>2011年は、3月に4号地(約1ha)を、8月には5号地として、奥秩父にある約68haもの広大な森を取得することができました。美しい滝がかかる沢に面した溪畦林と一部植林地が混じる水源の森です。</p> <p>これにより、水のトラスト地は計5ヶ所、約84haとなります。私たちは、さらに今後2年間で、5号地に隣接する約68haの森の取得を目指して、「水のトラスト」を進めてまいります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥101,539	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当協会では、2002年から、首都圏の水を支える荒川の源流域、埼玉県秩父地域において、水源の森を買い取り守る「水のトラスト」に取り組んでいます。昨年からは、「奥秩父ムジナ沢の森」において、2011年8月に取得したトラスト地に隣接する、約68haの土地取得を目指して、緊急プロジェクトを展開してきました。荒川水系中津川の源流域に位置する豊かな森で、沢沿いにはカツラやサワグルミの大木がそびえ立ち、トラスト地一帯には、絶滅の危機にある猛禽類のクマタカをはじめ、多くの野生の生きものが生息・生育しています。</p> <p>(使途)ご寄附頂いた101,539円と、その他多くの方々からお寄せ頂いたご寄附を合わせて、地権者に買い取りを約束している土地約68haの取得費用に充てさせて頂きました。</p> <p>(効果)奥秩父ムジナ沢の森約136ha(さいたまスーパーアリーナ31個分)を、ひとかたまりで子どもたちや将来世代の人々に手渡すことができます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥74,960	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当協会では、2002年から、首都圏の水を支える荒川の源流域、埼玉県秩父地域において、水源の森を買い取り守る「水のトラスト」に取り組んでいます。2012年からは、「奥秩父ムジナ沢の森」において、水のトラスト5号地に隣接する、約68haの土地取得を目指して、緊急プロジェクトを展開してきました。荒川水系中津川の源流域に位置し、絶滅の危機にあるツキノワグマが子育てをし、夏にはオオルリやミソサザイが美しい声でさえずる、豊かな自然が残された水源の森です。</p> <p>(使途)いただいたご寄附の内36,425円と、その他多くの方々からのご寄附を合わせて、2013年4月に、緊急プロジェクトの対象地を取得することができました。皆様のご協力に深く感謝申し上げます。</p> <p>(効果)奥秩父ムジナ沢の森約137ha(さいたまスーパーアリーナ31個分)を、ひとかたまりで子どもたちや将来世代の人々に残すことができました。今後とも、大切な源流の森の取得に努めてまいります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥23,738	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当協会では、2002年より、皆様から頂いたご寄附で秩父の美しい水源の森を買い取って守る「水のトラスト」を展開しています。2014年からは、日本百名山で知られる両神山において「両神山ナショナルトラスト」プロジェクトを始めました。先祖代々、自然の恵みを大切にしながら森を管理してこられた山主のご意志を尊重し、両神山の森を将来世代の人々に守りつないでいきます。</p> <p>(使途)2014年3月に、前年度繰越金38,535円と今回寄附額23,738円、その他多くの方々からのご寄附を合わせて、両神山の標高800m付近に位置する自然豊かな森58,679m²を、両神山1号地として取得させていただきました。</p> <p>(効果)清い水ときれいな空気、そして多くの生きものをはぐくむ生命の森を、首都圏の財産として、子どもたちや将来世代の人々に残すことができました。今後とも、大切な源流の森の取得に努めてまいります。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥8,143		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当協会では、2002年より、皆様からのご寄附で秩父の美しい水源の森を買い取って守る「水のトラスト」を展開しています。2014年からは、日本百名山に数えられ、多くの登山客に愛される両神山にて「両神山ナショナルトラスト」プロジェクトを始めました。</p> <p>(使途)2015年9月に、環境寄附12,043円と、その他多くの方々からのご寄附により、両神山の山頂を含む約1,231.9ha(登記簿面積)の美しい森を、(公社)日本ナショナル・トラスト協会と共同で取得させていただきました。自然保護を目的として一度に取得した面積としては、国内最大規模となります。</p> <p>(効果)大切な水とおいしい空気、そして多くの生きものを育む生命の森を、首都圏の財産として、子どもたちや将来の世代に残すことができました。秩父には、守らなくてはならない森がまだまだ広がっています。今後とも、源流の森の取得に努めてまいります。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K154	団体名	社団法人埼玉県緑化推進委員会
連絡先 (電話／メール)	048-824-5978	活動ホームページ (URL)	http://www.saitama-ryokusui.or.jp/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	緑の募金緑化事業		
寄附額合計	¥226,354		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥33,962	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当委員会は、寄附金を苗木配布、樹木の植栽及び森林整備等を行う団体等に交付金を交付して、埼玉県内の森林の保全、緑化の推進を図っています。</p> <p>(使途)この度の寄附金33,962円は、苗木配布事業として、苗木を配布した団体等への交付金2,500,000円の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)今回頂いたご寄附により、6,093本の苗木を配布することができました。今後も森林の造成及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化を図ってまいります。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥96,751	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当委員会は、寄附金を苗木配布、樹木の植栽及び森林整備等を行う団体等に交付金を交付して、埼玉県内の森林の保全、緑化の推進を図っています。</p> <p>(使途)この度の寄附金96,751円は、苗木配布事業として、苗木を配布した団体等への交付金3,131,000円の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)今回頂いたご寄附により、7,423本の苗木を配布することができました。今後も森林の造成及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化を図ってまいります。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥61,160	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当委員会は、寄附金を苗木配布、樹木の植栽及び森林整備等を行う団体等に交付金を交付して、埼玉県内の森林の保全、緑化の推進を図っています。</p> <p>(使途)このたびの寄附金61,160円は、苗木配布事業として、苗木を配布した団体等への交付金2,970,000円の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)今回いただいたご寄附により、7,002本の苗木を配布することができました。今後も森林の造成及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化を図ってまいります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥26,338	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当委員会は、寄附金を苗木配布、樹木の植栽及び森林整備等を行う団体等に交付金を交付して、埼玉県内の森林の保全、緑化の推進を図っています。</p> <p>(使途)この度の寄附金26,338円は、苗木配布事業として、苗木を配布した団体等への交付金3,251,000円の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)今回頂いたご寄附により、9,573本の苗木を配布することができました。今後も森林の造成及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化を図ってまいります。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,143	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当委員会は、寄附金を苗木配布、樹木の植栽及び森林整備等を行う団体等に交付金を交付して、埼玉県内の森林の保全、緑化の推進を図っています。</p> <p>(使途)この度の寄附金8,143円は、苗木配布事業として、苗木を配布した団体等への交付金2,950,000円の一部として使わせていただきました。</p> <p>(効果)今回頂いたご寄附により、6,705本の苗木を配布することができました。今後も森林の造成及び水資源のかん養並びに生活環境の緑化を図ってまいります。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K155	団体名	特定非営利活動法人22世紀やま・もり再生ネット
連絡先 (電話／メール)	090-1421-7161	活動ホームページ (URL)	http://www.22centsaisei.net/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	公共性、公益性の高い荒廃私有林の保全・再生		
寄附額合計	¥193,528		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥28,948	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>土砂が流出している荒廃私有林や手入れ不足になっている集落所有の財産区有林のうち、公共性・公益性の高い森林の保護・再生のため、植栽・保育経費を助成する活動を毎年、数箇所を対象に行っています。この対象森林を大きく拡大し、快適な人間生活や継続的な産業活動に貢献する森林を全国的に拡大することとしています。</p> <p>これまで5箇所の経営体に植栽・間伐・路網整備等の経費を助成していますが、今回の住宅エコポイント支援額は北秋田市阿仁合財産区に対して支援しました。</p> <p>このことにより、北秋田市阿仁合財産区の森林において、間伐等の森林整備が実施され、国土保全等の機能の高い森林が増加しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,139	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>土砂が流出している荒廃私有林や手入れ不足になっている集落所有の財産区有林のうち、公共性・公益性の高い森林の保護・再生のため、植栽・保育経費を助成する活動を数箇所を対象に行っています。この対象森林を拡大し、快適な人間生活や継続的な産業活動に貢献する森林を全国的に増加させることとしています。</p> <p>これまでNPO法人トラストサルン釧路、富士宮市白糸財産区、北秋田市阿仁合財産区、釜石地方森林組合、NPO法人森は海の恋人の5団体に植栽・間伐・路網整備等の経費を助成していますが、今回は、NPO法人もりネット北海道、NPO法人緑のダム北相模及び浄安森林組合、米川生産森林組合の4団体に対して行いました。</p> <p>このことにより、これら団体が関わる森林において、間伐等の森林整備が実施され、国土保全等の機能の高い森林が増加しています。なお、今回のエコポイント支援額は全額を対象4団体に等分して配布しました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥50,660	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>土砂が流出している荒廃私有林や手入れ不足になっている集落所有の財産区有林のうち、公共性・公益性の高い森林の保護・再生のため、植栽・保育経費を助成する活動を数箇所を対象に行っています。この対象森林を拡大し、快適な人間生活や継続的な産業活動に貢献する森林を全国的に増加させることとしています。</p> <p>これまでNPO法人トラストサルン釧路、富士宮市白糸財産区、北秋田市阿仁合財産区、NPO法人もりネット北海道、NPO法人緑のダム北相模、釜石地方森林組合、浄安森林組合、米川生産森林組合、NPO法人森は海の恋人の9団体に植栽・間伐・路網整備等の経費を助成していますが、今回は、NPO法人もりネット北海道、NPO法人緑のダム北相模、北秋田市阿仁合財産区及び大子漆保存会の4団体に対して行いました。</p> <p>このことにより、これら団体が関わる森林において、間伐等の森林整備が実施され、国土保全等の機能の高い森林が増加しています。なお、今回のエコポイント支援額は全額を対象者に等分して配布しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,238	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>土砂が流出している荒廃私有林や手入れ不足の集落所有の財産区有林のうち、公共性・公益性の高い森林の保護・再生のため、植栽・間伐・路網整備等の経費を助成する活動を行っています。</p> <p>この対象森林を拡大し、快適な人間生活や継続的な産業活動に貢献する森林を全国的に増加させるため、これまでNPO法人トラストサルン釧路、富士宮市白糸財産区、釜石地方森林組合、南三陸森林組合などの16団体に助成していますが、今回は、NPO法人もりネット北海道、NPO法人緑のダム北相模、北秋田市阿仁合財産区、大子漆保存会、NPO法人FEE Japan及び頓登組共有財産保存会の6団体に対して行いました。</p> <p>このことにより、これら団体が関わる森林において、間伐等の森林整備が実施され、国土保全等の機能の高い森林が増加しています。なお、今回のエコポイント支援額は全額を対象者に等分して配布しました。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,543	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>土砂が流出している荒廃私有林や手入れ不足の集落所有の財産区有林のうち、公共性・公益性の高い森林の保護・再生のため、植栽・間伐・路網整備等の経費を助成する活動を行っています。</p> <p>この対象森林を拡大し、快適な人間生活や継続的な産業活動に貢献する森林を全国的に増加させるため、これまでNPO法人トラストサルン釧路、富士宮市白糸財産区、釜石地方森林組合、南三陸森林組合などの17団体に助成していますが、今回は、NPO法人もりネット北海道、NPO法人緑のダム北相模、大子漆保存会、NPO法人FEE Japanの4団体に対して行いました。</p> <p>このことにより、これら団体が関わる森林において、間伐等の森林整備が実施され、国土保全等の機能の高い森林が増加しています。なお、今回のエコポイント支援額は全額を対象者に等分して配布しました。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K156	団体名	公益社団法人国土緑化推進機構
連絡先 (電話／メール)	03-3262-8457	活動ホームページ (URL)	http://www.green.or.jp/bokin/
対象分野	地球温暖化防止;自然保護・生物多様性保全;森林の保全・緑化;環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	緑の募金による森林整備・緑化支援		
寄附額合計	¥1,770,797		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥417,108	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当機構は、「緑の募金」で、水源を守るための間伐などの森林整備、環境教育のための森林づくりや緑化推進、砂漠地域での植林などの国際協力に取り組むボランティアの活動を支援しています。平成23年度は公募により、NPO団体等が行う、国内の森林の整備、緑化に189件、国際協力に45件、合計で234件の助成を行ったところです。</p> <p>(使途)このたび御寄附いただいた417,108円は、このうち「荒れた里山や水源林の手入れ、花粉の少ない森づくり、台風や松食い虫被災森林の再生等の活動に充当する」とし、「荒廃竹林整備促進事業」「茨城県民の森スギ採取園の跡地の森林整備及び森づくり活動」の助成に充てさせていただきました。</p> <p>(効果)2つの活動あわせて、5.0haの区域を対象に、約640人が森づくりに参加予定です。事業実施期間は平成23年7月から24年6月で、活動を実施中です。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥821,097	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当機構は、「緑の募金」で、水源を守るための間伐などの森林整備、環境教育のための森林づくりや緑化推進、砂漠地域での植林などの国際協力ボランティアなどの活動を支援しています。24年度は公募により、NPO団体等が行う国内の森林整備、緑化に173件、国際協力に47件、合計で220件の助成を行ったところです。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた821,097円の全額を、「将来を担う青少年の森林環境教育を進めるため、学校周辺の緑化・普及啓発活動等に充当する」とし、子どもたちが自然を学習できるような自然林を増やす活動(間伐、広葉樹植栽、下刈り)を行い、学習フィールドとなる自然林を提供する「自然林と共生の森づくり」の助成に充てさせていただきました。</p> <p>(効果)植栽2ha(113本)、下刈り4ha、間伐2haを実施し、約80人が森づくりに参加しました。事業実施期間は平成24年7月から25年6月です。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥368,029	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当機構は、「緑の募金」で、水源を守るための間伐などの森林整備、環境教育のための森林づくりや緑化推進、砂漠地域での植林などの国際協力ボランティアなどの活動を支援しています。25年度は公募により、NPO団体等が行う国内の森林整備、緑化に163件、国際協力に44件、合計で207件の助成を行いました。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた368,029円の全額を、「将来を担う青少年の森林環境教育を進めるため、学校周辺の緑化・普及啓発活動等に充当する」とし、子どもたちと市民ボランティアが協働し、植樹や観察会などの実施を通じ、地域住民と子どもたちの緑化意識の高揚を図る活動「親と子協働の森づくりと自然体験活動」の助成に充てさせていただきました。</p> <p>(効果)植栽0.1ha(200本)、下刈り0.4haを実施し、約125人が森づくりに参加しました。事業実施期間は平成25年7月から10月です。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥117,488	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当機構は、「緑の募金」で、水源を守るための間伐などの森林整備、環境教育のための森林づくりや緑化推進、砂漠地域での植林など国際協力ボランティア活動を支援しています。25年度は公募により、NPO団体等が行う国内の森林整備、緑化推進、国際協力に、合計で207件の助成を行ったところです。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた117,488円の全額を「将来を担う青少年の森林環境教育を進めるため、学校周辺の緑化・普及啓発活動等に充当する」とし、子供たちと市民ボランティアが協働して植樹などの森林整備のほか森林を活用した観察会、ワークショップなどを行う「親と子協働の森づくりと自然体験活動」に対する助成の一部に充てさせていただきました。</p> <p>(効果)植栽0.1ha(200本)、下刈り0.2ha、自然体験活動を実施し、約52人が森づくりに参加しました。事業実施期間は平成26年7月から9月です。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥47,075		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当機構は、「緑の募金」で、水源を守るための間伐などの森林整備、環境教育のための森林づくりや緑化推進、砂漠地域での植林など国際協力ボランティア活動を支援しています。</p> <p>(使途)このたびご寄附いただいた47,075円とその他の寄附金をあわせて、次代を担う子ども達に林業の大切さを伝えるため、「木を伐って使うことは健康な森づくりに必要なこと。」をキーワードに「活樹祭 子ども間伐体験」を実施し、地域の森林・林業関係者等の指導の下、「間伐材の幅広い活用法」、「林業のしごと」、「木の加工・利用」を体験しました。(岩手県葛巻町／参加者31名(東京19名、岩手12名))</p> <p>(効果)「伐った木が色々なものに使われること」「森を健康にするには、枝打ちや間伐など手間がかかること」、「日本の森は、木を使わないから不健康なこと」等を自分達のものとして感じた。また、保護者等にも「活樹マインド」が深まったと思います。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K157	団体名	財団法人都市緑化機構
連絡先 (電話／メール)	03-5216-7191	活動ホームページ (URL)	http://www.urbangreen.or.jp/
対象分野	地球温暖化防止;自然保護・生物多様性保全;森林の保全・緑化;環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	みんなの森づくり		
寄附額合計	¥2,374,324		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥730,187	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では、次の世代に緑豊かな環境を引き継いでいくことを目的として、市民による身近な場所での緑化活動を支援する「みんなの森づくり」事業を実施しています。市民が守り、育てる緑は、今日の地球温暖化の緩和や多様な生き物の保全などの環境問題解決に向けた一助となります。また、先の大震災による被災地では、緑が被災した皆さんの心を癒し、地域のコミュニティの再生にも効果があります。</p> <p>(使途)今年度は、市民による緑化活動の支援に加え、被災地の子どもを対象としたエコキャンプの実施、仮設住宅地への花苗等の提供及び植付ボランティアの派遣に係わる費用約2,200万円の一部として活用させていただきました。</p> <p>(効果)市民による緑化活動の支援を通じて、次の世代の子ども達に緑豊かな環境を引き継いでいくとともに、緑を通じて被災地の皆さんの支援に取り組んでまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥1,026,177	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では、次の世代に緑豊かな環境を引き継いでいくことを目的として、市民による身近な場所での緑化活動を支援する「みんなの森づくり」事業を実施しています。市民が守り、育てる緑は、今日の地球温暖化の緩和や多様な生き物の保全などの環境問題解決に向けた一助となります。また、先の大震災による被災地では、緑が被災した皆さんの心を癒し、地域のコミュニティ再生にも効果があります。</p> <p>(使途)今年度は、市民による緑化活動や子どもたちに身近な緑との触れ合いの機会を創出する活動の支援に係わる費用約1,100万円の一部として活用させていただきました。</p> <p>(効果)市民による緑化活動や子どもたちへの身近な緑との触れ合いの機会を創出する活動への支援を通じて、次の世代の子どもたちに緑豊かな環境を引き継いでいくとともに、子どもたちの豊かな心の育成に寄与してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥431,849	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では、次の世代に緑豊かな環境を引き継いでいくことを目的として、市民による身近な場所での緑化活動を支援する「みんなの森づくり」事業を実施しています。市民が守り、育てる緑は、今日の地球温暖化の緩和や多様な生き物の保全などの環境問題解決に向けた一助となります。また、先の大震災による被災地では、緑が被災した皆さんの心を癒し、地域のコミュニティ再生にも効果があります。</p> <p>(使途)今年度は、市民による緑化活動や子どもたちに身近な緑との触れ合いの機会を創出する活動の支援に係わる費用約2,040万円の一部として活用させていただきました。</p> <p>(効果)市民による緑化活動や子どもたちへの身近な緑との触れ合いの機会を創出する活動への支援を通じて、次の世代の子どもたちに緑豊かな環境を引き継いでいくとともに、子どもたちの豊かな心の育成に寄与してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥155,252	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では、次の世代に緑豊かな環境を引き継いでいくことを目的として、市民による身近な場所での緑化活動を支援する「みんなの森づくり」事業を実施しています。市民が守り、育てる緑は、今日の地球温暖化の緩和や多様な生き物の保全などの環境問題解決に向けた一助となります。また、先の大震災による被災地では、緑が被災した皆さんの心を癒し、地域のコミュニティ再生にも効果があります。</p> <p>(使途)今年度は、市民による緑化活動や子どもたちに身近な緑との触れ合いの機会を創出する活動の支援に係わる費用約2,710万円の一部として活用させていただきました。</p> <p>(効果)市民による緑化活動や子どもたちへの身近な緑との触れ合いの機会を創出する活動への支援を通じて、次の世代の子どもたちに緑豊かな環境を引き継いでいくとともに、子どもたちの豊かな心の育成に寄与してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥30,859	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当財団では、次の世代に緑豊かな環境を引き継いでいくことを目的として、市民による身近な場所での緑化活動を支援する「みんなの森づくり」事業を実施しています。市民が守り、育てる緑は、今日の地球温暖化の緩和や多様な生き物の保全などの環境問題解決に向けた一助となります。また、先の大震災による被災地では、緑が被災した皆さんの心を癒し、地域のコミュニティ再生にも効果があります。</p> <p>(使途)今年度は、市民による緑化活動や子どもたちに身近な緑との触れ合いの機会を創出する活動の支援に係わる費用約2,876万円の一部として活用させていただきました。</p> <p>(効果)市民による緑化活動や子どもたちへの身近な緑との触れ合いの機会を創出する活動への支援を通じて、次の世代の子どもたちに緑豊かな環境を引き継いでいくとともに、子どもたちの豊かな心の育成に寄与してまいりたいと考えておりますので、引き続きご支援をお願いいたします。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K158	団体名	社団法人日本ナショナル・トラスト協会
連絡先 (電話／メール)	03-5979-8031	活動ホームページ (URL)	http://www.ntrust.or.jp/support/support_ecopoint.html
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	日本におけるナショナル・トラスト活動の推進		
寄附額合計	¥989,689		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥195,921	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 私たちの協会は、日本の美しい風景を、永久に守っていくために土地の購入を進めています。特に現在は、絶滅が危惧されている希少生物に注目し、これらが安心して暮らしていける生息地の取得に力を入れています。</p> <p>(使途) 平成23年4月までに頂いたご寄附は、取得候補地の情報収集や現地確認、登記など新たな土地取得のための費用に充てました。新たなトラスト地として、12月に新興住宅地が広がる兵庫県神戸市内に残る貴重な森8.5ha(六甲・ヤマドリの森トラスト)と、同じく12月に東京湾へと注ぐ千葉県木更津市の矢那川上流の森324m2(木更津・矢那の森トラスト)を取得しています。</p> <p>【今後について】現在、奄美大島と徳之島のみが生息が確認されている絶滅危惧種・アマミノクロウサギの生息が確認された100haの森の購入に向けた検討を行っています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥250,952	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 日本の美しい風景を永久に守っていくために土地の購入を進めています。特に現在は、絶滅が危惧されている希少生物に注目し、これらが安心して暮らしていける生息地の取得に力を入れています。</p> <p>(使途) 平成24年9月までの寄附金のうち、69,099円は、以下のトラスト地取得のための現地確認や土地取得、登記のための費用に充てました。 「天竜・ギフチョウの森トラスト」(静岡県): 浜松市北部に位置する渋川自然環境保全地域内の7000m2の森です。全国的に生息環境である雑木林が減少していることから、希少種の指定を受けているギフチョウの生息が確認されています。</p> <p>(効果) 上記のトラスト地取得に充てた以外の寄附金181,853円は、更なる候補地の取得に向けトラスト基金へ積み立てました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥306,372	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 日本の美しい風景を永久に守るため、土地の購入を進めています。</p> <p>(使途) 平成25年4月までの寄附金の一部(275,931円)及び、繰り越し金(181,853円)は、土地取得の際の登記事項確認、現地調査、登記変更の費用として457,784円使用しました。</p> <p>(効果) 下記6件、計29,262m2の土地を取得しました。 1. 那須塩原ヒガラの森(栃木): 日光国立公園内に位置する森 2. 北湯沢温泉の森(北海道): 北海道指定の水源保全地域にあたる伊達市内の森 3. 余市の森(北海道): 積丹半島に位置する余市町内の果樹園が広がる農村地帯の森 4. 北軽井沢の森(群馬): 浅間山麓の高原地帯に広がる山林 5. 小川原湖畔・野鳥の湿原(青森): 希少種オオセツカの繁殖地に隣接する三沢市内の湿原 6. 青森・黒石の森(青森): 文学の森として黒石市民に親しまれる黒森山周辺の森</p> <p>また、現在手続きを進めている徳島県阿波町の土地確認の交通費51,380円の一部としても寄附金(30,441円)を利用しました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥57,366	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 日本の美しい風景を永久に守るため、土地の購入を進めています。</p> <p>(使途) 平成26年4月までの寄附金(57,366円)は、下記の土地取得の際の登記費用の一部として活用しました。</p> <p>(効果) 3件、計22,858m2の土地を取得しました。 1. 阿寒・西徹別の森(北海道): 釧路湿原へと注ぐ阿寒川流域の森 2. 羊蹄山麓・真狩の森(北海道): 羊蹄山を望むことのできる風光明媚な場所に位置する森 3. 一閑の森(岩手県): 岩手と宮城の県境に位置する里山の森</p> <p>また、昨年度の寄附金で現地調査を実施した徳島県阿波市の土地も、平成26年5月に無事取得し「阿波・水源の森」(32,729m2)として、将来にわたり守っていきます。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥179,078		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 日本の美しい風景を永久に守るため、土地の購入を進めています。</p> <p>(使途) 平成27年7月までの寄附金(179,078円)は、下記のトラスト地の土地取得及び登記費用等の一部として活用しました。</p> <p>(効果) 2件、計121,425m2の土地を取得。将来に渡り自然豊かなトラスト地として守っていきます。 1. 京都・嵐山の森トラスト(京都府): 京都市の嵐山歴史的風土保存地区、嵯峨嵐山風致地区内に位置する保安林及び山林。渡月橋の背景に広がる山並みの一部をなしています。この土地の登記費用として78,553円を使用しました。 2. 歌才湿原トラスト(北海道): 北海道内に残された最古の貴重な高層湿原。個人の所有地となっていたところを地元自治体である黒松内町とともに保全のため共有で土地取得しました。その土地取得費用等(500万円)の一部として100,525円を充てました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K159	団体名	財団法人かながわトラストみどり財団
連絡先 (電話／メール)	045-412-2525	活動ホームページ (URL)	http://www.ktm.or.jp
対象分野	自然保護・生物多様性保全;森林の保全・緑化;環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	トラスト緑地保全支援事業		
寄附額合計	¥229,718		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥30,093	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当財団では、神奈川県内の3つのトラスト緑地において地元ボランティア団体との協働による自然再生活動として「トラスト緑地保全支援事業」を展開しています。</p> <p>三浦市にある小網代の森緑地では、水系動植物調査や緑地の自然再生活動を行い、大和市の久田緑地では、定期的な竹林整備活動を進め、横浜市の桜ヶ丘緑地では、水辺の環境保全活動や植生調査などを行っており、鋸や鎌などの用具の調達や周知活動用チラシの作成などに住宅エコポイント寄附を費用の一部に充てました。</p> <p>緑地の植生調査を実施しボランティアの活動計画書を作成したり、継続的な水系調査及び整備活動を踏まえ、新たに湿原回復作業に着手するなどそれぞれの自然環境に合わせた再生活動を行っています。今後も、持続的な活動を行い良好な自然環境に向けて取り組んでいきます。今回ご寄附くださった皆様もご参加頂ける企画もありますので、お気軽に財団事務局へお声掛けください。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥97,834	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>神奈川県内の3つのトラスト緑地で、ボランティア団体との協働で「トラスト緑地保全支援事業」を展開しています。都市近郊にある緑地の自然環境を保全し、ボランティア活動が継続して取組みができるよう、支援しております。</p> <p>エコポイント寄附は、ボランティア団体への助成や樹木整備作業に充てられました。</p> <p>小網代の森緑地では、生き物が回復傾向にあることが調査によって明らかとなりました。これは、ボランティアによる藪笹の除去作業や樹木の整備等が行われており、河川生態系が再生されているようです。また、久田(くでん)緑地では竹林整備などの里山整備活動を行い、桜ヶ丘緑地では、水辺の環境学習イベントなどが行われました。</p> <p>今後も、良好な自然環境を保全していけるよう取り組んでまいります。今回、ご寄附くださった皆さまにもご参加いただける企画もありますので、財団WEBサイトや財団事務局にお問い合わせください。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥77,260	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当財団で神奈川県内の3つのトラスト緑地において、ボランティア団体との協働による自然再生活動として、「トラスト緑地保全支援事業」を展開しています。</p> <p>三浦市の小網代の森では、湿地回復や外来植物除去作業を行い、エコポイントの寄附を活用した水系調査の結果、昨年以上のアユの遡上、カワニナ、イシマキガイの増加が確認され、回復の兆しが見えています。</p> <p>平成26年7月20日(日)には念願の一般開放される予定です。調査や再生作業が広範囲なので、これまで以上に活動を大きくする必要があり、これからも支援をよろしく願います。</p> <p>今後も、持続的な作業を進め、良好な自然環境を保全していけるよう取り組んでまいります。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥16,988	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>神奈川県内の3つのトラスト緑地で、ボランティア団体との協働で「トラスト緑地保全支援事業」を展開しています。都市近郊にある緑地の自然環境を保全し、ボランティア活動が継続して取組みができるよう、支援しております。</p> <p>エコポイント寄附は、この事業で使用し、ボランティア団体への助成や樹木整備作業等に充てられました。</p> <p>神奈川県三浦市にある小網代の森において、浦の川水系の生物調査を行い、多くの生き物が回復傾向にあることが明らかとなりました。これは、ボランティアによる日照回復作業等の結果が表れたものと考えられます。引き続き水系生物調査を行い、自然再生活動による効果測定を行ってまいります。</p> <p>今後も、良好な自然環境を保全していけるよう取り組んでまいります。今回、ご寄附くださった皆さまにもご参加いただける企画もありますので、財団WEBサイトや財団事務局にお問い合わせください。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,543	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>神奈川県内の3つのトラスト緑地で、ボランティア団体との協働で「トラスト緑地保全支援事業」を展開しています。都市近郊にある緑地の自然環境を保全し、ボランティア活動が継続して取組みができるよう、支援しております。</p> <p>エコポイント寄附は、ボランティア団体への助成に充てられました。</p> <p>この助成によって小網代の森緑地の水系生物調査が行われ、ボランティアによる湿潤回復作業などの自然再生により、生き物が回復傾向にあることが明らかとなっています。今後も持続的な取り組みを支援し、小網代の森の保全を図ってまいります。</p> <p>今回、ご寄附くださった皆さまにもご参加いただける企画もありますので、財団WEBサイト(http://www.ktm.or.jp)や財団事務局にお問い合わせください。</p>	

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K160	団体名	公益財団法人鎌倉風致保存会
連絡先 (電話／メール)	0467-23-6621	活動ホームページ (URL)	http://userweb.www.fsinet.or.jp/fuhchi/
対象分野	自然保護・生物多様性保全;森林の保全・緑化;環境教育・人材育成;グリーン購入		
事業・ プロジェクト名	緑地保存事業、普及啓発活動事業		
寄附額合計	¥225,819		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,542	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 所有緑地「十二所果樹園」(5.5ha)では、明るい里山と広葉樹の雑木林づくりへの第一歩として、毎年3月に植樹会を行っています。平成22年度は平成23年3月5日(土)に会員及び一般の参加者35名にて約70本の木々を植えました。</p> <p>(使途) この度ご寄附いただいた31,542円と当会の資金を合わせ36,480円にて、クリ30本、コナラ30本、ユリノキ1本、ウメ2本、カエデ2本の各苗木と、シュロ縄、ビニールテープを購入しました。(その他、クヌギの苗木数本を無償で提供受けました。)</p> <p>(効果) 参加者は昨年とほぼ同数でしたが、家族連れや初めての方の参加があり、また、植樹会開催を知った方から苗木を寄附したいという申し出もあり、一般の方への普及啓発効果が徐々にすすんでいるように思われます。過去の植樹会に植えた樹木も育ってきており、広葉樹の雑木林へ少しずつですが向かっています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥92,236	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 所有緑地「十二所果樹園」では明るい里山と広葉樹の雑木林づくりのため、毎年1回植樹会を行っています。また、所有緑地「御谷山林」では小学生以下の子供たちを対象に、自然の中で身体を動かして遊ぶ楽しさを知ってもらう「里山ふれあい祭り」を年1回行っています。</p> <p>(使途) 植樹会のための苗木代(栗30本、山桜3本他、計28,245円)、里山ふれあい祭りの費用(巣箱の材料、貸トイレ、豚汁材料他、計39,894円)、里山づくりのための道具として、のこぎりや高枝切鋸などの費用の一部(24,097円)として使用しました。</p> <p>(効果) 植樹会は残念ながら、少雨のため参加者は15名でしたが、将来の里山と雑木林のために約40本の植樹ができました。里山ふれあい祭りには150名を超える参加者があり、鎌倉の緑地保全の普及啓発に大いに役立ちました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥69,860	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 所有緑地「十二所果樹園」では明るい里山と広葉樹の雑木林づくりのため、毎年数回下草刈り・伐採などの緑管理作業と年1回の植樹会を行っています。また、所有緑地「御谷山林」では小学生以下の子供たちを対象に、自然の中で身体を動かして遊ぶ楽しさを知ってもらう「里山ふれあい祭り」を年1回行っています。</p> <p>(使途) 伐採作業のためののこぎり10丁(33,600円)、植樹会のための苗木代(栗20本 16,800円)、里山ふれあい祭りの費用の一部(巣箱の材料、貸トイレ、豚汁材料他、計19,460円)として使用しました。</p> <p>(効果) 十二所果樹園での下草刈り・伐採などの緑作業は年間8回、参加者184名、植樹会は21名、里山ふれあい祭りには152名の参加者があり、鎌倉の緑地保全とその普及啓発に大いに役立ちました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,038	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 所有緑地「御谷山林」と鎌倉市の緑地「常盤山緑地」で「緑の環境感謝の日」という緑地保全の普及啓発イベントを毎年11月23日に行っています。市内外の方や児童、生徒、学生にボランティア参加を呼びかけ、緑に感謝し、緑の中に入って汗を流そうという趣旨で鎌倉市と共催で実施しています。主な作業は草刈と簡単な枝払いなどです。</p> <p>(使途) 草刈鎌、熊手の補充分12,495円、ボランティアに来てくれた方に配布する軍手とタオル9,901円、ペットボトルのお茶4,248円、費用合計26,644円の一部として使用しました。</p> <p>(効果) 連休中とあって参加者が両方の緑地合計で50人弱だったが、鎌倉市だけでなく横浜市の中学生の自主参加などもあり、また、御谷では作業をしているところを観光客が見て自分も参加したいと言ってくれるなど、市内だけでなく多くの人に知ってもらう良いチャンスとなりました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥14,143		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 所有緑地「十二所果樹園」では明るい里山と広葉樹の雑木林づくりのため、毎年数回下草刈り・伐採などの緑管理作業と年1回の植樹会を行っています。</p> <p>(使途) 植樹会のための苗木代の費用の一部(栗20本、コブシ1本 19,980円)として使用しました。</p> <p>(効果) H26年度、十二所果樹園の植樹会はH27年3月7日に行い、13名の参加がありました。いただいた寄附金を使用して数年前に植樹した若い栗の木も結実するようになり、今秋の「家族で栗拾い」イベントや、青空保育のグループの「栗拾い体験」の際、たくさんの栗の実を収穫でき、大いに役立ちました。今後も植樹や下草刈などの手入れ作業を行い、また、次世代につながるイベントなどを行って緑地を守る大切さを普及啓発していきたいと思えます。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K161	団体名	独立行政法人環境再生保全機構(地球環境基金)
連絡先 (電話／メール)	044-520-9606	活動ホームページ (URL)	http://www.erca.go.jp/jfge/
対象分野	地球温暖化防止;リサイクル・廃棄物対策;自然保護・生物多様性保全;森林の保全・緑化;大気・水・土壌環境の保全、化学物質対策;環境教育・人材育成;グリーン購入		
事業・ プロジェクト名	環境NGO、NPOの活動を支援する地球環境基金事業		
寄附額合計	¥992,743		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥172,070	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金では、国内外で環境保全に取り組むNGO・NPOを支援するため、活動への資金助成、調査研究、研修、情報提供を行っています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた172,070円は、全額を地球環境基金に積み立て、その運用益を環境NGO・NPOの活動に対する助成等を行うための財源とさせていただきます。</p> <p>(効果)平成22年度は、153件の活動に対し、総額4億5千8百万円の助成を行いました。また、平成21年度より3年計画で開始した環境NGO・NPOの活動状況調査について、平成22年度は、関東地域を調査対象に2,184件のデータ収集を行いました。研修については、「組織運営出前講座」と、集合研修である「環境保全に取り組むNGO・NPO運営講座」を統合、また、海外派遣研修については「活動体験コース」と「実践手法スタディコース」を統合し、国内・海外で12の研修・講座を実施しました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥416,111	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金では、国内外で環境保全に取り組むNGO・NPOを支援するため、活動への資金助成、調査研究、研修、情報提供を行っています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた416,111円は、全額を地球環境基金に積み立て、その運用益を環境NGO・NPOの活動に対する助成等を行うための財源とさせていただきます。</p> <p>(効果)平成23年度は、179件の活動に対し総額5億1千万円の助成、平成24年度は190件の活動に総額約6億5千万円の助成を行いました。特に、(1)東日本大震災・原発事故に関連する環境保全活動(2)国連持続可能な開発のための世界会議(RIO+20)に関連する活動については重点事項とし、平成24年度は30件の活動に1億2千万円の助成金の交付を決定しました。現在も活動は継続していますが、RIO+20において13の助成団体が参加し、国際会議でNGO・NPOの存在をアピールすることに寄与できました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥302,631	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金では、国内外で環境保全に取り組むNGO・NPOを支援するため、活動への資金助成、調査研究、研修、情報提供を行っています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた302,631円は、全額を地球環境基金に積み立て、その運用益を環境NGO・NPOの活動に対する助成等を行うための財源とさせていただきます。</p> <p>(効果)平成24年度は、189件の活動に対し総額約6億円の助成を行いました。特に、(1)東日本大震災・原発事故に関連する環境保全活動(2)国連持続可能な開発のための世界会議(RIO+20)に関連する活動について特別に助成を行い、計21件の活動に約9千万円の助成金を交付しました。RIO+20においては、13の助成団体が参加し、国際会議でNGO・NPOの存在をアピールすることに寄与できました。なお、平成25年度は190件の活動に総額約6億2千万円の助成を行っています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥71,645	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当基金では、国内外で環境保全に取り組むNGO・NPOを支援するため、活動への資金助成、調査研究、研修、情報提供を行っています。</p> <p>(使途)この度ご寄附いただいた71,645円は、全額を地球環境基金に積み立て、その運用益を環境NGO・NPOの活動に対する助成等を行うための財源とさせていただきます。</p> <p>(効果)平成25年度は、189件の活動に対し総額約6億円の助成を行いました。東日本大震災に関連する活動については、計12件の活動に約4千万円の助成金を交付しました。なお、平成26年度は、197件の活動に総額約6億5千万円の助成を行っています。特に、国連ESD(持続可能な開発のための教育)の10年の締めくり会合の開催に伴い、それに関連する環境保全活動についての助成も実施しています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥30,286	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)「地球環境基金」は、国の出資金と民間からの寄附金によって造成される基金で、その運用益(利息)と国からの運営費交付金によって、日本国内及び開発途上地域の環境保全に取り組む民間団体(NGO、NPO)の活動を支援する助成事業及び振興事業を行っています。</p> <p>(使途)助成事業では、国内外の民間団体が開発途上地域又は日本国内で実施する環境保全活動に対し、助成を行っています。助成の対象となるのは、自然保護・保全・復元、地球温暖化防止、循環型社会形成、環境教育等の分野です。振興事業では、国内外の民間団体の環境保全活動を振興するため、調査研究や人材育成研修、情報提供等を行っています。</p> <p>(効果)平成26年度においては総数197件、総額604,765千円、平成27年度においては、総数207件、総額643,164千円の助成を行っており、環境寄附を地球環境基金に充当して環境保全活動へ役立てています。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K162	団体名	公益社団法人にいがた緑の百年物語緑化推進委員会
連絡先 (電話／メール)	025-290-8055	活動ホームページ (URL)	http://www.midori100.com
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	災害復興緑の支援事業		
寄附額合計	¥434,406		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥79,489	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)平成19年から緑の募金の使途を限定し、平成16年の中越、19年の中越沖の2度の地震被災した新潟県中越地域の被災地に豊かな緑と潤いを取り戻す為に、震災復興緑の支援事業を実施しています。</p> <p>(使途)この度のご寄附79,489円は、被災した長岡市、柏崎市及び出雲崎町を通じ申請のあった5団体が行った災害に強い防災生態林の造成、被災地の復元・景観再生、被災した福祉施設の周辺緑化などのボランティアによる緑化活動に対し助成しました。</p> <p>(効果)其々の被災地域で地域の力が結集され、5箇所まで延べ404名が参加し、広葉樹を主体に834本の植樹と4ヘクタール育樹活動が行われました。被災地域の環境づくりやふるさと再生を目指して、ボランティア意識が醸成され、地域の復興とコミュニティの増進に大きく寄与しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥208,741	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)平成19年から緑の募金の使途を限定し、平成16年発生中越、同19年中越沖及び平成22年の長野県北部地震で被災した新潟県中越地域の被災地に豊かな緑と潤いを取り戻す為に、震災復興緑の支援事業を継続実施しています。</p> <p>(使途)この度のご寄附208,741円全額を、震災復興支援「緑の募金」の一部として、長岡市、南魚沼市、十日町市の3団体が行った災害に強い防災生態林の造成、被災施設の緑化復元・再生、市民スキー場跡地荒廃森林の再生など、ボランティアによる緑化活動に対し助成しました。</p> <p>(効果)其々の被災地域で地域の力が結集され、今年度は3箇所まで述べ326名が参加し、広葉樹2,430本の植樹と5.3ヘクタールの育樹活動が行われました。被災地域の環境づくりやふるさと再生を目指して、ボランティア意識が醸成され、地域の復興とコミュニティの増進に大きく寄与しています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥114,510	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)平成19年から緑の募金の使途を限定し、平成16年発生中越、同19年中越沖及び平成22年の長野県北部地震で被災した新潟県中越地域の被災地に豊かな緑と潤いを取り戻す為に、震災復興緑の支援事業を継続実施しています。</p> <p>(使途)この度のご寄附114,510円全額を、震災復興支援「緑の募金」の一部として、長岡市及び十日町市の2団体が行った災害に強い防災生態林の造成、被災施設の緑化復元・再生、市民スキー場跡地荒廃森林の再生など、ボランティアによる緑化活動に対し助成しました。</p> <p>(効果)其々の被災地域で地域の力が結集され、今年度は2箇所まで述べ550名が参加し、広葉樹2,835本の植樹と1.3ヘクタールの育樹活動が行われました。被災地域の環境づくりやふるさと再生を目指して、ボランティア意識が醸成され、地域の復興とコミュニティの増進に大きく寄与しています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥22,333	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)中越大地震の際には全国から心温まるご支援をいただきました。10年目を迎えた本年6月1日、第65回全国植樹祭が開催され、森林と人、里山と都市とのつながりが被災地の復興の力となり、緑を取り戻した姿を全国に発信することができました。当委員会は前年度からフラッグリレーを全県各地で行うとともに、未来へつなぐ森の力「緑の守り人」フェスタを開催日当日併催事業として実施し、全国植樹祭に協賛しました。</p> <p>(使途)この度のご寄附22,333円全額を未来へつなぐ森の力「緑の守り人」フェスタの6本の記念植樹費用の一部として助成しました。</p> <p>(効果)フェスタは1150人参加者があり、記念植樹のほか、緑の少年団や小学校等13団体が交流会や体験発表を行いました。復興した被災地の現在の姿を全国に発信することができました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥9,333		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)平成23年に発生した長野県北部地震で荒廃した十日町市民スキー場跡地に、十日町市民協働の森づくり実行委員会と協働でブナやナラ等を植える植樹祭を実施しました。植樹祭では人間と自然との共生を目標にした里山の復元を目指し、平成27年10月14日(水)に十日町市内の小学生327名と市民併せて500名が1950本の苗木を植樹しました。植樹に先立ち式典を行い代表者による記念植樹(ベニヤマザクラ15本)を行いました。</p> <p>(使途)この度のご寄附9,333円全額を今回の記念植樹費用の一部に使わせていただきました。</p> <p>(効果)記念樹や植樹した苗木は、荒廃地を緑で復興するとともに、子ども達にはこの植樹祭を呼び起こし、市民の皆様には緑のうるおいをあたえることとなりました。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K163	団体名	社団法人静岡県緑化推進協会
連絡先 (電話／メール)	054-273-6987	活動ホームページ (URL)	http://www.shizu-green.or.jp
対象分野	森林の保全・緑化・環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	しずおか豊かな森づくり推進事業		
寄附額合計	¥221,238		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥35,462	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>寄附された住宅エコポイントは、緑の募金として静岡県内の森林の整備・緑化の推進活動に充当されている。</p> <p>活動内容は、川上と川下の住民が協働して水源となる森林の整備、森づくり活動に必要な苗木、里山の荒廃した森林や竹林の整備等を行うNPOや森づくりグループへの支援、さらには学校林の整備充実を図りそれを活用して環境教育を行うPTA等や小・中学生で組織されている緑の少年団等、延べ177団体が行う様々な森づくり活動の助成に活用されている。</p> <p>なお、平成22年度の緑の募金全体では、静岡県内で85千本の木や花の苗が植えられ、366ヘクタールの森林が整備されている。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥98,236	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、緑の募金を財源として、森づくり活動や森林環境教育活動を行っているNPO、ボランティアグループ等(毎年度140団体程度)に助成し、市民の自発的取組を育て、又、緑の大切さを次代に担う子供達に伝えていきます。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた額に、通常の緑の募金を加え、身近な里山等の竹林や森林の整備、森林の大切さを伝える森林環境教育を実践するNPO、ボランティアグループ等を支援するための事業を企画し、公募に応じた団体の実施内容を審査のうえ、助成金として全額交付しました。</p> <p>(効果)皆様からのご寄附により、昨年度は延べ236団体の活動を支援した結果、緑を豊かにする活動が県内各地で実施され、74,111本の木や花の苗が植えられ、360ヘクタールの森林整備が行われるなど、延べ236,158人が各種の活動やイベントに参加されました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥56,959	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当団体は、緑の募金を財源として、森づくり活動や森林環境教育活動を行っているNPO、ボランティアグループ等(毎年度140団体程度)に助成し、市民の自発的取組を育て、又、緑の大切さを次代に担う子供達に伝えていきます。</p> <p>(使途)ご寄附いただいた額に、通常の緑の募金を加え、身近な里山等の竹林や森林の整備、森林の大切さを伝える森林環境教育を実践するNPO、ボランティアグループ等を支援するための事業を企画し、公募に応じた団体の実施内容を審査のうえ、助成金として全額交付しました。</p> <p>(効果)皆様からのご寄附により、昨年度は延べ185団体の活動を支援した結果、緑を豊かにする活動が県内各地で実施され、111,416本の木や花の苗が植えられ、567ヘクタールの森林整備が行われるなど、延べ349,491人が各種の活動やイベントに参加されました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥19,038	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、森づくり活動や森林環境教育を行なっているボランティア活動を支援し、森林の整備を進めたり、次代を担う子どもたちに森林の大切さを伝えることなどによって、環境保全の意識高揚を図っています。今回は、静岡県富士市の「富士山こどもの国」において、富士市子ども会世話人連絡協議会が開催した植樹活動への支援を行いました。</p> <p>(使途)このたびご寄附を受けた19,038円と当協会の資金を合わせ、富士市内の小学生とその保護者19組、65人が参加し、富士山に植樹する活動に用意した苗木90本の購入費用等として支援することができました。</p> <p>(効果)次代を担う子供たちに、富士山や森林の大切さを体験的に伝えることが出来ました。今後も、森林づくり活動に取組む県民の皆様を支援し、多くの方々が森づくりに参加される機会を一層広げていきたいと考えています。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥11,543		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、森づくり活動や森林環境教育を行なっているボランティア団体の活動を支援し、森林の整備を進めたり、次代を担う子どもたちに森林の大切さを伝えることなどによって、環境保全の意識高揚を図っています。今回は、静岡県伊東市の「特定非営利活動法人伊東里山クラブ」が開催した植樹活動を支援しました。</p> <p>(使途)このたびご寄附を受けた11,534円と当協会の資金を合わせ、伊東里山クラブ会員25人と一般市民14人が参加し行った、伊東市内の大丸山の緑化活動のための苗木50本の購入費用への助成金としました。</p> <p>(効果)森林は、全ての人々の共有財産です。一人でも多くの皆様に、できることから森づくりに参加していただけるよう、このたびのご寄附を活用したことにより、参加の機会を一層広げることができました。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K164	団体名	特定非営利活動法人愛岐トンネル群保存再生委員会
連絡先 (電話／メール)	090-4860-4664	活動ホームページ (URL)	http://www.geocities.co.jp/ag_tunnel/index.htm
対象分野	自然保護・生物多様性保全		
事業・ プロジェクト名	旧国鉄中央線の廃線とトンネル群からなる産業遺産保存と自然再生活動		
寄附額合計	¥230,253		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,442	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)愛知・岐阜の県境廃線敷を5年前に発見して以来、毎年春・秋の特別公開を通じて、鉄道産業遺産の市民へ保存再生の理解を深めています。昨春秋の公開には全国20都府県から5日間に15,000人が訪れました。目標は、この施設群を活用した観光地化であり、同時に周辺地域の活性化です。お蔭で23年秋には全国コンテストである「土地活用モデル大賞審査委員長賞」、今年は国土交通省の「手づくり郷土賞」を受賞、全国的な認知が進んでいます。</p> <p>(使途)寄附金は廃線敷地を民間所有者から買取る「ナショナルトラスト運動」基金の一部へ充当しています。平成21年からの募金活動により3年間で1200万円の浄財が1万人以上の市民から寄せられ、数年後には廃線が買い取れるものと思いますが実績と評価を高めて、最終的には地元自治体へ「無償譲渡」し、将来の産業遺産の観光地への自立を目指します。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥121,736	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)愛知と岐阜の両県に跨る旧国鉄の中央本線の廃線8キロを再生させるため、市民による発掘・保存活動を繰り広げています。経済産業省から「近代化産業遺産続33」に認定、国土交通省の「手づくり郷土賞」を受賞、さらに昨年文化庁から文化財建造物活用事業の受託しました。廃線の一部は現在民間所有地であり、この敷地を買取り、地域に還元しようと募金活動も同時に進めています。</p> <p>(使途)下記の基金に算入させていただきました。 ナショナルトラスト・トンネル群再生基金 H21年5月より募金受付開始 基金額 25年3月現在 14,519,980円 + 2,225,714円 (24年同月 12,294,266円 + 4,110,763円) (23年同月 8,183,503円 + 4,378,254円) (22年同月 3,805,249円)</p> <p>(効果)現地の再生状況を理解いただくため、年2回の一般公開を実施しています。 第7回 2011/4/26～5/1 6日 6,683人 第8回 2011/11/23～27 5日 15,591人 第9回 2012/4/26～30 5日 11,559人 第10回 2012/11/22～27 6日 19,460人 入場者からも寄付金を募り、廃線の買取りをめざしています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,158	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>110年前の旧国鉄廃線を発掘・再生することで地域観光資源化することをめざしています。この廃線には13箇所ものレンガトンネルがあり、その規模は全国最多でもあります。現在は民間所有地であり、借地契約で管理していますが、規制が多く観光資源として活用するには敷地を買取り、地元の観光協会や事業者らとの連携を深めて中部地方の新たな地域資源として活用したいと思えます。</p> <p>現在、市民1万4千人以上の篤志家から目標額の80%までの寄附金が集まっています。(うち、住宅エコポイントからの寄附によるこれまでの積み立ては、この度ご寄附いただきました51,158円を加えて、202,336円)もう一息、来年度の買取りをめざしてまい進してゆきます。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,054	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>1900年旧国鉄中央本線の春日井―多治見間には、約8Kmの距離に全国でも珍しく14基のトンネルがつくられ1961年廃線になり、2006年に市民の手で発見されるまで人々の記憶から消え去った。2007年、有志が廃線の再生活動をスタートさせた。地権者の許可を得て発掘・調査を行い、愛知県側の廃線1.7キロを開拓し、これをきっかけに廃線の「再生現場見学会」を開催し、毎年2回、特別公開を実施している。昨秋には、全国20都府県や遠く海外から2万人を超える来場者を数えるまでになった。民間所有であった愛知県側の5haの軌道敷を市民の浄財で買取ろうと、2009年5月に愛知県下では初めての「ナショナルトラスト運動」を開始。</p> <p>目標の1500万円を目指して皆さん方の寄附金は前年度繰越金202,336円と今回寄附額17,054円を含めた全額この再生基金へ算入するため次年度に繰越させていただきます。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥10,863		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>市民により半世紀ぶりに発見されるなど平成19年まで放棄された13基の明治のレンガ製隧道群は、経産省「近代化産業遺産続33」認定など日本最大規模の鉄道遺産として再評価。8キロの廃線の直径30cmを越す樹木や数百本のモミジが繁茂し豊かに復活した自然と遺産群が共生する全国でも珍しい場所に育ち、ナショナルトラスト運動で保存再生を行っています。</p> <p>平成26年には1万3千人の方々から寄付金が集まり、また住宅エコポイントからの環境寄附金を加えて愛知県側5ヘクタールの買い取りが完了しました。</p> <p>全国でも珍しい「ナショナルトラストによる産業遺産の敷地買い取り」が、NHKニュースなどで全国へ発信されました。今後は、廃線のつづく岐阜県側7ヘクタールの対処になり、寄附金はその原資に算入させていただきます。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K165	団体名	公益社団法人愛知県緑化推進委員会
連絡先 (電話／メール)	052-963-8045	活動ホームページ (URL)	http://www010.upp.so-net.ne.jp/ai-ryoku/
対象分野	森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	緑の募金による緑化の推進		
寄附額合計	¥385,551		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥42,479	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当委員会では、県民の緑化に対する理解を深め、県民総参加の県土緑化を目指して、各種の事業を行っています。その中で、家庭から緑を増やし地域緑化を促進するとともに県民の緑化意識の醸成を図るため、緑化木の配布を行いました。</p> <p>(使途)緑化木の配布は、「緑の募金」を活用し毎年、春期及び秋期に実施していますが、今年度は秋期の緑化木配布経費の一部に寄附金(42,479円)を充当させていただきました。</p> <p>(効果)緑化木配布の本数は、住宅等エコポイント寄附金により、従来より約1,900本増加し、より一層、家庭、地域の緑化が推進できました。なお、配布時には、住宅エコポイントによる寄附金を活用している旨周知いたしました。今後も当委員会は、緑化木配布等の各種事業を実施し、緑化の推進に努めてまいります。 緑化木配布実績 21年度 14,970本 22年度 16,920本 23年度 16,750本</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥164,773	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当委員会は、県民の緑化に対する理解を深め、県民総参加の県土緑化を進めるため緑の募金により各事業を実施しているが、その中で、家庭から地域へと緑の輪を広げるとともに県民の緑化意識の醸成を図るため、緑化木配布事業を実施した。</p> <p>(使途)緑化木配布事業は、毎年、春期・秋期に各市町村が実施主体となり、一般県民を対象に約17,000本程度配布しているが、その経費の一部に寄附金(164,773円)を充当した。</p> <p>(効果)寄附金は、約610本の配布本数に相当し、地域や家庭緑化を推進に役立てることができた。なお、各配布時には、住宅エコポイントによる寄附金を活用している旨を周知した。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥151,258	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当委員会は、次代を担う児童・生徒が自然に親しむとともに、その恩恵に感謝し、豊かな心を育み、健やかに育つことを目指して、各事業を実施しているが、その中で、緑を愛する心を持つ健全な少年少女を育てるため、「みどりの少年団活動」を実施した。</p> <p>(使途)「みどりの少年団活動」は、全県で70団体が結成されており、その活動を助成するため、育成事業を実施し、1団当たり5万円の補助金を交付しているが、その経費の一部に寄附金(151,258円)を充当した。</p> <p>(効果)寄附金は、約3団の活動助成に相当し、県下の「みどりの少年団活動」に役立てることができた。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,498	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当委員会は、次代を担う児童・生徒が自然に親しむとともに、その恩恵に感謝し、豊かな心を育み、健やかに育つことを目指して、各事業を実施しているが、その中で、緑を愛する心を持つ健全な少年少女を育てるため、「みどりの少年団活動」を実施した。</p> <p>(使途)「みどりの少年団活動」は、全県で72団体が結成されており、その活動を助成するため、育成事業を実施し、1団当たり5万円の補助金を交付しているが、その経費の一部に寄附金(18,498円)を充当した。</p> <p>(効果)寄附金は、1団の約1/3の活動助成に相当し、県下の「みどりの少年団活動」に役立てることができた。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,543	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>当委員会では、水源地域の森づくりと次代を担う子供たちに緑とふれあい緑の大切さを学んでいただくため、みどりの少年団、ボーイスカウト、ガールスカウトと共同で、毎年、愛知県新城市でどんぐりの木の植栽を行っています。</p> <p>平成8年から継続的に実施しており、今回で20回目を迎えました。今年は総勢162名(引率者を含む)で、ご寄附いただきました8,543円と当委員会が実施する「緑の募金」を合わせて、コナラ150本を植栽する費用に充てさせていただきました。</p> <p>今後も継続的に実施し、地球温暖化の防止や水源の涵養などの公益的を發揮する森づくりに取り組んでまいります。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K166	団体名	三重県緑化推進協会
連絡先 (電話／メール)	059-224-9100	活動ホームページ (URL)	http://www.ztv.ne.jp/web/mieryokusui/
対象分野	環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	森の楽しさ体験事業		
寄附額合計	¥250,190		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥31,822	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)子どもの頃に里山で遊んだ人の多くは、大人になっても森林や林業への興味を失わず理解を示します。当協会では、森林での遊びや林業体験などを児童生徒と先生が森林環境教育の中で行ってもらう必要性を考えていました。</p> <p>(使途)森林環境学習に取り組む小中学校を支援する森林環境教育促進事業助成金として31,822円を使わせていただきました。ご寄附を経費の一部(資材購入、バス借料等)に充てることにより、活発な森林活動体験を行うことができました。</p> <p>(効果)昨年に引続き間伐体験に取り組む小中学校と間伐材を使った木工体験や抵抗性クロマツの育苗や植樹などに取り組む新たな2校への助成を行うことができました。来年度も引き続き森林環境教育促進事業を行うこととしています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥98,030	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)子供の頃に里山で遊んだ多くの人は、大人になっても森林や林業への興味を失わず理解を示します。当協会では、森林での遊びや学習、林業体験などを児童や生徒等と先生が行い、森林環境教育により、森林の大切さを学んでいた必要性があります。</p> <p>(使途)森林環境教育に取り組む小中学校および高校を支援する森林環境教育促進事業助成金として、この度ご寄附を頂きました98,030円と当会の資金を合わせまして、1,535,700円また、緑の少年隊育成強化事業として 240,000円を使わせていただきました。ご寄附を経費(資材購入、バス借料、講師派遣費用)に充てることにより、活発な森林体験学習を行うことができました。</p> <p>(効果)緑の少年隊への活動助成のほか、間伐体験に取り組んだり、間伐材を利用した木工体験や植樹、学校でのピオトープ作りに取り組んだ8校に助成をすることができました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥92,057	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)子供の頃に里山で遊んだ多くの人は、大人になっても森林や林業への興味を失わず理解を示します。当協会では、森林での遊びや学習、林業体験などを児童や生徒等と先生が行い、森林環境教育により、森林の大切さを学んでいた必要性があります。</p> <p>(使途)森林環境教育に取り組む小中学校および高校を支援する森林環境教育促進事業助成金として、この度ご寄附を頂きました92,057円と当会の資金を合わせまして、100,000円を使わせていただきました。ご寄附を経費(資材購入、講師派遣費用)に充てることにより、活発な森林体験学習を行うことができました。</p> <p>(効果)森林植生の調査をしたり、立木密度や樹高、胸高直径、樹齡などの森林の調査をし、森林に接し、木にふれあい森林環境について学びを深めた1校に助成をすることができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥20,738	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)小・中学校の行う森林環境学習活動に助成することによって、子どもたちに森林や里山での活動体験を通して森林・緑の大切さを学ぶ機会を与え、緑化活動や森林づくり活動への理解を深めることを目的とします。</p> <p>(使途)森林環境教育に取り組む小・中及び高等学校を支援する森林環境教育促進事業補助金として、この度ご寄附いただいた20,738円と当協会の資金を合わせまして、657,203円を5校に交付し、使わせていただきました。交付した助成金は講師派遣経費や子供たちがフィールドへ向かうための交通費などに充てられ、森林環境教育への支援となりました。</p> <p>(効果)子供たちが直接森林と触れあうことができ、フィールド内で学習する体験により、森林環境についてより理解を深めることができました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥7,543		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)小・中学校の行う森林環境学習活動に助成することによって、子どもたちに森林や里山での活動体験を通して森林・緑の大切さを学ぶ機会を与え、緑化活動や森林づくり活動への理解を深めることを目的とします。</p> <p>(使途)森林環境教育に取り組む小・中及び高等学校を支援する森林環境教育促進事業補助金として、この度ご寄附いただいた7,543円と当協会の資金を合わせまして、363,434円を2校に交付し、使わせていただきました。交付した助成金は講師派遣経費や子供たちがフィールドへ向かうための交通費などに充てられ、森林環境教育への支援となりました。</p> <p>(効果)子供たちが直接森林と触れあうことができ、フィールド内で学習する体験により、森林環境についてより理解を深めることができました。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K167	団体名	財団法人 大阪みどりのトラスト協会
連絡先 (電話／メール)	06-6614-6688	活動ホームページ (URL)	http://www.ogtrust.jp/
対象分野	自然保護・生物多様性保全・森林の保全・緑化		
事業・ プロジェクト名	貴重な自然環境の保全や市街地の緑化		
寄附額合計	¥254,616		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥36,742	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当協会では、府内の自然環境保全対象地で各地のボランティアと協力し、森林整備や調査など自然環境や生きものを守る活動を続けています。その中で人の出入りが激しい場所については、希少動植物の盗掘や踏み込みによる環境劣化などの問題を抱えています。</p> <p>(使途)今回ご寄附いただいた¥36,742で、特に府内で少なくなっている湿地内への人の立ち入りに対する防護柵の補修・設置ができました。</p> <p>(効果)立ち入り防護柵により、希少動植物の生育地となる湿地内での盗掘や採集目的で立ち入りを防止できると期待しています。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥142,036	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当協会では、府内の自然環境保全対象地で各地のボランティアと協力し、森林整備や調査など自然環境や生きものを守る活動を続けています。その中で人の出入りが激しい場所については、希少動植物の盗掘や踏み込みによる環境劣化などの問題を抱えています。</p> <p>(使途)今回ご寄附いただいた142,036円で、特に府内で少なくなっている湿地内への人の立ち入りに対する防護柵の補修・設置ができました。</p> <p>(効果)立ち入りに対する防護柵により、希少動植物の生育地となる湿地内への盗掘や採集目的での立ち入りを防止できると期待しています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥51,157	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当協会では、府内の自然環境保全対象地で各地のボランティアと協力し、森林整備や調査など自然環境や生きものを守る活動を続けています。その中で人の出入りが激しい場所については、希少動植物の盗掘や踏み込みによる環境劣化などの問題を抱えています。</p> <p>(使途)今回ご寄附いただいた51,157円で、特に府内で少なくなっている湿地内への人の立ち入りに対する防護柵の設置ができました。</p> <p>(効果)立ち入りに対する防護柵により、希少動植物の生育地となる湿地内への盗掘や採集目的での立ち入りを防止できると期待しています。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,638	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当協会では、府内の自然環境保全対象地で各地のボランティアと協力し、森林整備や調査など自然環境や生きものを守る活動を続けています。その中で人の出入りが激しい場所については、希少動植物の盗掘や踏み込みによる環境劣化などの問題を抱えています。</p> <p>(使途)今回ご寄附いただいた17,638円で、特に府内で少なくなっている湿地内への人の立ち入りに対する防護柵の設置が出来ました。</p> <p>(効果)立ち入りに対する防護柵により、希少動植物の生育地となる湿地内への盗掘や採集目的での立ち入りを防止できると期待しています。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥7,043	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当協会では、府内の自然環境保全対象地で各地のボランティアと協力し、森林整備や調査など自然環境や生きものを守る活動を続けています。その中で人の出入りが激しい場所については、希少動植物の盗掘や踏み込みによる環境劣化などの問題を抱えています。</p> <p>(使途)今回ご寄附いただいた7,043円で、特に府内で少なくなっている湿地内への人の立ち入りに対する防護柵の設置ができました。</p> <p>(効果)立ち入りに対する防護柵により、希少動植物の生育地となる湿地内への盗掘や採集目的での立ち入りを防止できると期待しています。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K168	団体名	社団法人兵庫県緑化推進協会
連絡先 (電話／メール)	078-341-4070	活動ホームページ (URL)	http://www.hyogo-green.net/
対象分野	地球温暖化防止;自然保護・生物多様性保全;森林の保全・緑化;環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	緑の募金による森林整備・緑化支援		
寄附額合計	¥332,272		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥42,952	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)頂いた環境寄附は、「森と緑とのふれあい支援事業」の財源に充当しています。森林ボランティア団体が森林保全活動や樹木の植栽等、又森づくりイベント開催事業を行う場合に助成金として交付し活用しています。</p> <p>(事業)里山整備と炭焼窯の復元を中心とした里山公園づくりに取り組みました。公園は、地元小学校の生徒の炭焼き体験や都市住民による里山作業体験などを行っていますが、新たに広葉樹の苗木の植樹を行い森林ボランティアと共に広葉樹の森の育成に取り組みました。</p> <p>(効果)参加した小学生達の環境意識の向上が図られたこととともに、里山の健全な育成と生物多様性の進展を図ることができました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥142,089	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)頂いた環境寄附は、「森と緑とのふれあい支援事業」の財源に充当しています。森林ボランティア団体が森林保全活動や樹木の植栽等、又森づくりイベント開催事業を行う場合に助成金として交付し活用しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた142,089円と、当会の資金を合わせまして、森林整備活動を行うとともに、小・中学生に対する「環境体験学習」や一般市民を対象に「里山整備体験」「里山自然観察会」を開催し、森の大切さを伝える取り組みを行った。間伐材の利活用にも力を入れ、製材・加工し、林内にベンチ、遊具などを設置して地域の子供たちが楽しく里山に触れ合えるような環境を作るとともに、巣箱や木工品などの制作を通して子供達の環境教育を積極的に行い、子供たちが森への関心を深める取り組みを行った。</p> <p>また、新たに広葉樹の苗木の植樹を行い森林ボランティアと共に広葉樹の森の育成にも取り組みました。</p> <p>(効果)参加した小学生達の環境意識の向上が図られたこととともに、里山の健全な育成と生物多様性の進展を図ることができました。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥100,818	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)頂いた環境寄附は、「森と緑とのふれあい支援事業」の財源に充当しています。森林ボランティア団体等が保全活動や樹木の植栽等、また、森づくりイベント開催事業を行う場合に助成金として交付し活用しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた100,818円と、当協会の資金を合わせまして、森林整備活動を行うとともに、小・中学生に対する「森林学習体験」や一般市民を対象に「里山整備体験」「里山自然観察会」を開催し、森の大切さを伝える取り組みを行った。間伐材の利活用にも力を入れ、製材・加工し、林内ベンチ、遊具などを設置して地域の子供達が楽しく里山にふれあえるような環境を作るとともに、巣箱や木工品の制作を通して森への関心を深める取り組みを行った。</p> <p>また、植樹を行い森林ボランティアとともに森の育成にも取り組みました。</p> <p>(効果)里山の健全な育成と生物多様性の進展を図れたとともに、参加した子供達の環境意識の向上を図ることができました。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥31,180	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)頂いた環境寄附は、「森と緑とのふれあい支援事業」の財源に充当しています。森林ボランティア団体等が保全活動や樹木の植栽等を行う場合に助成金として交付し活用しています。</p> <p>(使途)この度ご寄附頂いた31,180円と、当協会の資金を合わせまして、森林整備活動を行うとともに、小・中学生に対する「森林学習体験」や一般市民を対象に「里山整備体験」を開催し、森の大切さを伝える取り組みを行った。間伐材の利活用にも力を入れ、製材・加工し、林内ベンチ、遊具などを設置して地域の子供達が楽しく里山にふれあえるような環境を作るとともに、巣箱や木工品の制作を通して森への関心を深める取り組みを行った。また、植樹を行い森林ボランティアとともに森の育成にも取り組みました。</p> <p>(効果)里山の健全な育成と生物多様性の進展を図れたとともに、参加した子供達の環境意識の向上を図ることができました。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥15,233		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要)当法人では、緑の募金を原資として森林の整備や地域の緑化を促進する活動を支援しており、いただいた環境寄附は、こうした活動に対して助成する「森と緑とのふれあい支援事業」の実施財源として活用しています。</p> <p>(使途)この度いただいた15,233円と当協会の資金を合わせて、植栽や間伐等の森林整備活動を行うとともに、子どもたちへの森林体験学習や県民参加の「里山ふれあい体験会」等を開催し、森の良さや大切さを啓発する取り組みを行いました。</p> <p>また、喫緊の課題である木材利用の促進にも取り組み、木製遊具を設置して木とふれあう空間を創出するほか、木工教室の開催を通して、木材利用に対する子どもたちの関心と理解を深める活動を行いました。</p> <p>(効果)森林整備活動を通じて、地球温暖化防止や生物多様性の保全に寄与するとともに、次代を担う子どもたちの環境保全意識の醸成を図ることができました。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K170	団体名	公益社団法人高知県森と緑の会
連絡先 (電話／メール)	088-855-3905	活動ホームページ (URL)	http://www.moritomidori.com/
対象分野	地球温暖化防止;自然保護・生物多様性保全;森林の保全・緑化;環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	緑の募金による森林整備・緑化支援		
寄附額合計	¥320,376		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥54,385	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、高知県内での緑化の推進や記念植樹、地域の活性化させるための植樹活動に対して、苗木の支援を行っています。</p> <p>(使途) 今回の54,385円と当会の資金を合わせまして、平成23年度に18の団体・学校・地域等に649本の苗木を支援しました。(一部を次に紹介します) 「須崎地区森林組合」…管轄内の学校などで全30種類、総計124本を植樹した。 「須崎緑と水の会」…地元の小中学生らも参加し、小学校の学校林にモミジ、クヌギなどの広葉樹計100本を植樹した。 「馬路村観光協会」…同村魚梁瀬にある丸山公園で、桜・モミジ計50本を記念植樹した。 「土佐清水市大津地区」…災害時避難場所に指定されている緑ヶ丘頂上公園に桜・ツツジなど100本を植樹した。</p> <p>(効果) 地域の活性化や緑化の推進等に寄与した。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥175,632	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、地域の活性化のための植樹活動に対して、苗木の支援を行っています。</p> <p>(使途) 今回の175,632円と当会の資金を合わせまして、高知県西部の幡多地区の市町村や森林組合が合同で行なう植樹活動に、150本の苗木を支援しました。樹種の内訳は、ツツジ100本、オオヤマザクラ50本。</p> <p>(効果) 幡多地域の森林に対する意識の啓発や緑化の推進等に寄与した。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥64,288	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、地域の活性化のための植樹活動に対して、苗木の支援を行っている。</p> <p>(使途) 今回の64,288円と当会の資金を合わせて、高知県西部の幡多地区の市町村や森林組合が合同で行なう植樹活動に150本の苗木を支援した。樹種の内訳は、ヒラドツツジ100本、河津桜25本、染井吉野25本。</p> <p>(効果) 幡多地域の森林に対する意識の啓発や緑化の推進等に寄与した。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥17,503	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、地域の活性化のための植樹活動に対して、苗木の支援を行っています。</p> <p>(使途) 今回の17,503円と当会の資金を合わせて、高知市土佐山地区「土佐山夢づくりの会」がおこなう植樹活動にセンダイヤ桜の苗木20本を提供しました。</p> <p>(効果) 県民の森林に対する意識の啓発や緑化の推進等に寄与できました。今後も継続して県内各地の植樹活動の支援に取り組んでいきます。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,568	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、地域の活性化のための植樹活動に対して、苗木の支援を行っております。</p> <p>(使途) 今回の8,568円と当会の資金を合わせて、幡多林業研究グループ協議会と高知県幡多林業事務所が行う植樹活動にツツジの苗100本を提供しました。</p> <p>(効果) この事業は、豊かな森林の恵みに感謝し、森林や山を守ることの重要性に対する理解と関心を深め、県民一人ひとりが森林や山を守り育てる活動に参加し、次世代へと引き継ぐことを趣旨とする「こうち山の日」の行事として植樹活動を毎年行っているもので、県民の森林に対する意識の啓発や緑化の推進等に寄与できました。今後も継続して県内各地の植樹活動の支援に取り組んでいきます。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K171	団体名	社団法人生態系トラスト協会
連絡先 (電話／メール)	050-8800-2816	活動ホームページ (URL)	http://www.d.pikara.ne.jp/ecotrust/
対象分野	自然保護・生物多様性保全;森林の保全・緑化;環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	四万十ヤイロチョウの森トラスト		
寄附額合計	¥229,616		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥29,142	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人では、絶滅危惧種で高知県の鳥などに指定されているヤイロチョウの保護のために、四万十川流域に『四万十ヤイロチョウの森』と名付けた森林を取得し、恒久的な保護区として保全しながら、次世代に対する環境教育の場として活用しています。</p> <p>(使途) いただいた29,142円の寄附金は、自己資金と合わせて毎月の森の調査や、親子エコ合宿(15名参加)、インターンシップ研修会(6回、42名が参加)、町青少年育成協議会と共催の自然観察会(40人参加)、記念植樹の苗木代の一部として活用しました。</p> <p>(効果) このような活動を知った篤志家からの大口寄附金により、平成23年7月に新たに34ヘクタール余の森を取得した結果、『四万十ヤイロチョウの森トラスト』の面積は165ヘクタールに拡大しました。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥90,736	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人では、絶滅危惧種で高知県の鳥などに指定されているヤイロチョウの保護のために森林を取得し、恒久的な保護区として保全しながら環境教育の場としても活用しています。</p> <p>(使途) ヤイロチョウの生息地の森の生態系調査や環境学習等に充てるため、この度ご寄附をいただいた 90,736円に自己資金や助成金等とあわせて、生物多様性の調査や、ヤイロチョウの森の親子バスツアー(8名参加)、ヤイロチョウの日記念イベント(39名参加)、エコツアーガイド養成講座(延30名参加)の事業の実施に活用しました。</p> <p>(効果) このような活動に基づいて、平成25年3月に環境省中国四国環境事務所が公募した「四国の環境政策フォーラム」に環境政策を提言したところ、当協会の提言は「優秀賞」に入賞しました。平成26年には現地にネイチャーセンターを開館させて、さらに大きく保護普及活動を広げたいと考えています。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥83,657	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人では、絶滅危惧種で高知県の鳥などに指定されているヤイロチョウの保護のために、四万十川流域に『四万十ヤイロチョウの森』と名付けた森林を取得し、恒久的な保護区として保全しながら、次世代に対する環境教育の場として活用しています。</p> <p>(使途) いただいた83,657円の寄附金は、自己資金と合わせて毎月の森の調査や、親子エコスクール(のべ25名参加)、に使用させていただきました。</p> <p>(効果) わたくし共の活動に賛同いただいた大口の寄附者により、2014年7月には四万十町に環境教育施設『四万十ヤイロチョウの森ネイチャーセンター』がオープンいたします。今まで行っていた活動は、その施設を拠点にしてより多くの子供たちの環境教育や自然保護を行っていくことになっていくと思います。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥18,038	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当協会では、鹿の剥離被害によって荒廃した人工林を伐採・間伐し自然林を再生させる活動を行っております。四万十川流域で、主にチェーンソーを使って森づくりをしている団体「四万十樵塾」、高知林業株式会社、調査ボランティアの方たちと協働して森の整備・調査を行いました。</p> <p>(使途) 寄附していただいた18,038円は森を整備するためのチェーンソーのオイルやガソリンを購入するために使用しました。森の管理をするうえで必要不可欠なものの購入に使用しました。</p> <p>(効果) 当協会が所有するトラスト地(約60,000m²)のヒノキ林の一部(500m²)に草地を造成することができた。今後はさらに範囲を広げると同時に、シカやイノシシ等の獣害対策を行う実験的な区画としても利用したいと考えている。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥8,043	
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当協会では、環境教育の一環として、2012年8月に絶滅宣言の出されたカワウソをテーマに、こどもたちが交流する『カワウソキャンプ』を2015年8月に開催しました。3度開催した2泊3日のキャンプはいずれも定員に達し、約100名の親子にご参加いただきました。会場となったのは、トラスト地のある四万十の森や、ヤイロチョウの森ネイチャーセンターの周辺の四万十川などで、カワウソをはじめとする四万十の生物多様性について学びながら四万十の豊かな自然を体感していただきました。</p> <p>(使途) ご寄附いただいた8,043円はキャンプ準備費用の不足額補填として使用しました。</p> <p>(効果) 参加者親子はこの活動を通じ、自然のすばらしさ、生物の不思議、尊さに触れ、改めて、人と自然、野生生物たちとの関わりについて考えていただけたようです。</p>		

**住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体用 事業報告書**

事業者コード	K172	団体名	財団法人さが緑の基金
連絡先 (電話／メール)	0952-20-2124	活動ホームページ (URL)	http://sagamidorinokikin.com/
対象分野	地球温暖化防止;自然保護・生物多様性保全;森林の保全・緑化;環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	緑の募金による森林整備・緑化支援		
寄附額合計	¥216,216		
事業報告	平成23年度		
	寄附額	¥33,342	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人では、県内の児童達が自ら学校及び周辺の植樹や清掃をすることにより、体験を通じて自然や緑の大切さを学んでもらい緑化活動や環境美化に積極的に参加する意識の醸成に努めています。</p> <p>(使途) この度ご寄附いただいた33,342円と当法人の資金を合わせまして、環境美化やボランティア活動に取り組んでいる江北小学校のボランティア委員会の子供達20名で2月から3月にかけてに学校及び周辺に白モクレン、イロハモミジ、ピオラ、ノースポール、パンジー花苗など154本を植栽しました。</p> <p>(効果) 子供達みずから植栽することにより、学校及び周辺緑豊かな環境を作るとともに、その花や緑を楽しみ、自然の持つすばらしさを認識するとともに、緑化の大切さを学ぶことができた。 今後とも、子供達が自ら取り組む環境緑化や緑化美化の普及に取り組んでいきたいと考えます。</p>	
	平成24年度		
	寄附額	¥97,936	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人は、緑の少年団活動をおとして地域の清掃や植樹活動を行うことにより、体験を通じて自然や緑の大切さを学んでもらい、環境美化や緑化活動に積極的に参加する意識の醸成に努めています。</p> <p>(使途) ご寄附いただいた41,334円と当法人の資金を合わせまして、緑化活動を行っている背振町緑の少年団43名が平成23年度年間を通じて行う学校周辺や高取山、背振山の清掃美化活動を行いました。また、サクランボ、モミジ等を植栽し学校の環境緑化を行いました。</p> <p>(効果) 緑の少年団活動を通じて清掃活動や植栽をすることにより、学校及び地域の環境美化や緑豊かな環境をつくることと、その花や緑を楽しみ、自然の持つすばらしさを認識し、緑化の大切さを学ぶことができた。 来年度は環境美化、学校等の緑化活動に加えて、緑の教室を予定しており、今回頂いた寄附金56,602円を当法人資金と合わせて使用させていただきます。</p>	
	平成25年度		
	寄附額	¥62,157	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人は、緑の少年団活動をおとして地域の植樹や清掃活動を行うことにより、自然や緑の大切さを学ぶとともに、緑化や環境美化活動に積極的に参加する意識の醸成に努めています。</p> <p>(使途) 寄附を受けた額62,157円と当法人の資金を合わせ、県内18市町48の緑の少年団が平成24年度年間を通じて行う学校周辺や各地区内の山林及び海岸等での清掃活動、並びに学校近隣山地において清掃活動やクリノキ、ヒラドツツジ等を植栽するなどし環境緑化を行いました。</p> <p>(効果) 緑の少年団活動を通じて清掃活動や植栽をすることにより、学校及び地域の環境美化や緑豊かな環境を自ら創るとともに、自然の持つ素晴らしさを認識し、緑化の大切さを学ぶことが出来た。 今後も引き続き、地域の環境美化や緑化活動を実施するとともに、県全体や地区毎に学習会・交流会の開催により、緑の少年団が行う環境緑化活動を支援することとしている。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥16,738	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人は、緑の少年団活動をおとして地域の植樹や清掃活動を行うことにより、自然や緑の大切さを学ぶとともに、緑化や環境美化活動に積極的に参加する意識の醸成に努めています。</p> <p>(使途) 寄附を受けた額16,738円と当法人の資金を合わせ、県内18市町47の緑の少年団が平成25年度年間を通じて行う学校周辺や各地区内の山林・海岸等での清掃活動、並びに学校近隣山地において清掃活動やハナミズキ、イロハモミジ等を植栽するなどし環境緑化を行いました。</p> <p>(効果) 緑の少年団活動を通じて清掃活動や植栽をすることにより、学校及び地域の環境美化や緑豊かな環境を自ら創るとともに、自然の持つ素晴らしさを認識し、緑化の大切さを学ぶことが出来た。 今後も引き続き、地域の環境美化や緑化活動を実施するとともに、県全体や地区毎の学習会・交流会開催により、緑の少年団が行う環境緑化活動を支援することとしている。</p>	
平成27年度			
寄附額	¥6,043		
実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当法人は、緑の少年団活動をおとして地域の植樹や清掃活動を行うことにより、自然や緑の大切さを学ぶとともに、緑化や環境美化活動に積極的に参加する意識の醸成に努めています。</p> <p>(使途) 寄附を受けた額6,043円と当法人の資金を合わせ、県内18市町47の緑の少年団が平成26・27年度を通じて行う学校周辺や各地区内の山林・海岸等での清掃活動、及び学校近隣山地において清掃活動やヤマコウバシ、ハナミズキ等を植栽するなどし環境緑化を行いました。</p> <p>(効果) 緑の少年団活動を通じて清掃活動や植栽をすることにより、学校及び地域の環境美化や緑豊かな環境を自ら創るとともに、自然の持つ素晴らしさを認識し、緑化の大切さを学ぶことが出来た。 今後も引き続き、地域の環境美化や緑化活動を実施するとともに、県全体や地区毎に学習会・交流会の開催により、緑の少年団が行う環境緑化活動を支援することとしています。</p>		

住宅エコポイント事業／復興支援・住宅エコポイント事業 環境寄附対象団体用 事業報告書			
事業者コード	K242	団体名	公益社団法人北海道森と緑の会
連絡先 (電話／メール)	011-261-9022	活動ホームページ (URL)	http://h-green.or.jp/
対象分野	地球温暖化防止;森林の保全・緑化;環境教育・人材育成		
事業・ プロジェクト名	住民団体による森づくり活動支援		
寄附額合計	¥71,197		
事業報告	平成25年度		
	寄附額	¥48,425	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、NPOやボランティア団体等が行う緑化活動に助成をし、北海道の森林の保全や身近な緑の環境づくりに取り組んでいます。その中で、子供たちや学生が森づくりに関わったり、木とふれあうことで、森林を大切に思う心をはぐくむ「木育」にも取り組んでいます。</p> <p>(使途) 札幌市の小学校の父母と先生が、子供たちと一緒に、150本のミズナラの苗木を近くの山に植樹しました。このうちの苗木代の一部に48,425円を充当しました。</p> <p>(効果) 参加した児童は70名。「木を植えたのは初めてだけど、とても楽しかった。」「大きくなった自分の植えた木を見に来たい。」など、疲れも見せず楽しく話しており、森林や森づくりへの関心が高まったようです。</p>	
	平成26年度		
	寄附額	¥16,733	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、NPOやボランティア団体等が行う緑化活動に助成をし、北海道の森林の保全や身近な緑の環境づくりに取り組んでいます。その中で、子供たちや学生が森づくりに関わったり、木とふれあうことで、森林を大切に思う心をはぐくむ「木育」の取り組みにも取り組んでいます。</p> <p>(使途) 千歳市の小学校の児童を対象に、自然環境や森林の樹木・動植物への関心を高めることを目的に、近くの森林を活用した体験型授業を行い苗づくり、枝打ち、植樹などを行いました。このうちの苗木代の一部に16,733円を充当しました。</p> <p>(効果) 1年から6年までの児童が参加。初めて植樹をした児童が多く、植樹した木が、まわりにあるような大きな木に成長していくことに驚いた様子で、自然の力への関心が高まったようです。</p>	
	平成27年度		
	寄附額	¥6,039	
	実際の環境寄附の使い途 (使用対象及び成果等)	<p>(概要) 当会では、NPOやボランティア団体等が行う緑化活動に助成をし、北海道の森林の保全や身近な緑の環境づくりに取り組んでいます。その中で、子供たちや学生が森づくりに関わったり、木とふれあうことで、森林を大切に思う心をはぐくむ「木育」の取り組みにも取り組んでいます。</p> <p>(使途) 当別町道民の森で、全道の緑の少年団が集まり、自然環境や森林の樹木・動植物への関心を高めることを目的に、近くの森林を活用した体験型授業を行いました。この取り組みに要した費用の一部に6,039円を充当しました。</p> <p>(効果) 小学校1年から6年までの児童が参加。各地の少年団の交流により、各地域の森林の違いを知り、また、植樹や森林学習により森の成長していくことに驚いた様子で、自然の力への関心が高まったようです。</p>	